NEC

ユーザーズマニュアル

目次 CONTENTS

853-810601-830-A
2009年6月　初版

このマニュアルの表記について

◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や参照情報などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意　人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

障害や事故の発生を防止するための禁止事項は、次のマークで表しています。

一般禁止
その行為を禁止します。

接触禁止
特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。

水ぬれ禁止
水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電による感電や発火の可能性を示します。

火気禁止
外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。

分解禁止
分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。

ぬれ手禁止
ぬれた手で扱うと感電する可能性を示します。

障害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

アース線を必ず接続するように指示するものです。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
☹➡☺	パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものを探してください。
メモ	参考になる事柄です。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」は、「スタート」-「サポートナビゲーター(電子マニュアル)」をクリックして起動します。
「サポートナビゲーター」-「使いこなす」	「サポートナビゲーター」を起動して、ソフトの操作方法などを参照することを示します。

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
記載しているホームページの内容やアドレスは、本冊子制作時点のものです。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています。

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

Office 2007モデル	Office Personal 2007 2年間ライセンス版が添付されているモデルのことです。

◆周辺機器について

- 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows XP、Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版Service Pack 3
Windows Media Player	Windows Media® Player 11
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ 2009

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare℠ International Service]対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
(7)本機の内蔵ハードディスクやSSDにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Home Edition、Microsoft® Windows® XP Professional、またはMicrosoft® Windows® XP Media Center Edition および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROM は、本機のみでご使用ください。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

各種規制について

■高調波電流規制について

この装置の本体は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 適合品です。
本体の電源の入力波形は正弦波をサポートしています。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]
本装置は落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）
[充電されたバッテリパックを取り付けている場合]
本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス[NEC UltraCare[SM] International Service]対象機種については、ご購入後一年間、日本への引取修理サービスを受けられます。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with acceptance service of repair inside Japan for one year after the purchase date.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*[1]: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

安全にお使いいただくために

安全上のご注意（警告事項）

■本体使用上の警告

⚠警告

● **煙や異臭、異常な音、手で触れないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、火災、やけど、感電のおそれがあります。内部の点検・調整は、下記にお問い合わせください。

0120-977-633

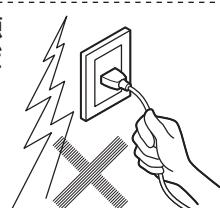
● **本製品に触れるとビリビリとした電気を感じる場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、感電、けが、火災の原因となるおそれがあります。

● **本製品が変形していたり、割れ目などの破損箇所がある場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。**

そのまま使用すると、感電、けが、火災の原因となるおそれがあります。

● **雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類（電源コード、ACアダプタ、USBケーブルなど）に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しをおこなわないでください。**

落雷による感電のおそれがあります。

● **ビニール袋などの梱包材料は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管してください。**

窒息事故などを起こすおそれがあります。

● **不安定な場所に置かないでください。また、地震等によって落下、転倒しやすい場所には置かないでください。**

落下、転倒してけがをするおそれがあります。

● **本機を改造、分解しないでください。**

感電、発煙、発火の原因になります。

⚠警告

● **本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。**

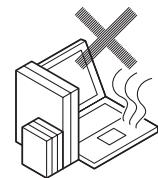
発熱、発火、破裂の原因になります。

● **本製品の内部に次のような異物を入れないでください。**

- 金属物
- 燃えやすい物質
- 水などの液体
- 薬品

回路がショートして火災の原因になります。

● **装置の通風孔をふさがないでください。**

内部に熱がこもり、発煙、発火の原因になることがあります。

■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の警告

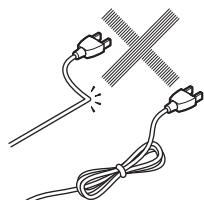
⚠警告

● **電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。**

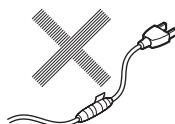
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

※ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用(日本仕様)です。

● **電源コード、ACアダプタを取り扱う際は、次の点をお守りください。**

- 落下させたり衝撃を与えない
- 折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
- つけ根部分を無理に曲げない
- 重いものを載せない
- 布などでくるまない
- 屋外で使用しない
- 水などの液体がかかる場所では使用しない

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

● **破損した電源コードは使用しないでください。**

電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が過熱し、火災や感電の原因になります。

● **電源コード、ACアダプタのプラグにホコリがたまったままの状態で本機を使用しないでください。**

電源コード、ACアダプタのプラグにホコリがたまったまま使用していると、プラグのピンの間で放電(トラッキング現象)が起こり、火災の原因になります。

⚠警告

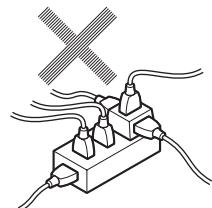
● **電源コードは、装置添付のものを使用し、そのプラグを、壁や床に設置されている定格100Vのコンセントに直接差し込んでください。また、装置添付の電源コードを他の機器には使用しないでください。**

やむを得ず、お客様の責任で延長コード等をご利用になる場合は、二重絶縁(二重被覆)のものを定格の範囲内で使用し、以下の項目に十分注意するようにしてください。

・落下させたり衝撃を与えない
・折れ曲がった状態で使用しない
・つけ根部分を無理に曲げない
・重いものを載せない
・布などでくるまない
・屋外で使用しない
・水などの液体がかかる場所では使用しない
・破損したコードを使わない
・プラグにホコリがたまったままの状態で使用しない
・奥までしっかり差し込む
・プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く
・ぬれた手で触らない

延長コード等は、使用方法によっては発煙、発火、火災、感電の原因になることがありますので十分ご注意ください。

● **タコ足配線にしないでください。**

電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。

● **指定のACアダプタを使用し、ACアダプタを分解、改造しないでください。**

指定以外のACアダプタを使用したり、分解、改造して使用すると、感電、発煙、発火の原因になります。

ACアダプタの型番については、添付のマニュアルをご覧ください。

● **電源コード、ACアダプタ、ウォールマウントプラグ等の接続の際は、次の点をお守りください。**

・ 差込部は正しい向きで接続する
・ 電源コードをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む
・ ウォールマウントプラグをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む
・ プラグ部をコンセントに正しく挿入する
・ コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く

発煙、発火、火災、感電の原因になります。

● **長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。**

絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

⚠警告

● ACアダプタとパソコンの接続部(DCコネクタ部)については、次の点をお守りください。

・ 接続部をこじらない
・ 運搬、移動時は接続を外す
・ 接続コードを傷付けない

発煙、発火、やけどのおそれがあります。
また、故障等で過熱している場合もありますので、接続部に触るときは十分ご注意ください。

● 電源コード、ACアダプタ、ウォールマウントプラグ等を接続して本体を使用しているときは、ACアダプタにできるだけ接触しないでください。

やけどの原因になります。特に、バッテリパックの充電中は、ACアダプタの温度が高くなることがあるので注意してください。

■バッテリパック・電池使用上の警告

⚠警告

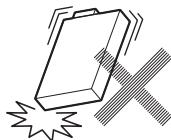
● **バッテリパックは指定の方法以外で充電しないでください。**

マニュアルに記載されている指定方法にて充電してください。指定以外の方法で充電すると、発熱、発火、液もれすることがあります。

● **バッテリパックを火中に投下する、火に近づける、加熱する、または高温状態で放置することはしないでください。**

火中に投下したり、火に近づけたり、加熱したり、または高温状態で放置すると、破裂、発火、液もれすることがあります。

● **バッテリパックに衝撃を与えないでください。**

落下するなど、本体やバッテリパックに強い衝撃を与えた場合、あるいは破損、変形したときは、使用をやめてください。そのまま使用を続けると、破裂や発火、液もれなどの恐れがあります。詳しくは、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

● **バッテリパックを分解、改造しないでください。**

分解、改造すると、破裂したり、液もれすることがあります。弊社指定以外のバッテリパックや、分解、改造したバッテリパック(弊社で修理対応したものを除く)は、安全を確保するためのチェック機能や制御機能が正しく動作しません。

弊社指定以外のバッテリパックや、分解、改造したバッテリパックは、品質、性能、安全性について保証の対象外となります。

● **バッテリでの駆動時間が短くなってきたときは、弊社指定の新しいバッテリパックに交換してください。**

使用期間が長くなり、何度も充放電を繰り返したバッテリパックは、その性能が劣化します。駆動時間が短くなったバッテリパックは、弊社指定の新しいバッテリパックと交換することをおすすめします。

著しく充電容量の低下したバッテリパック※は、直ちに使用を中止し本体から取り外してください。継続して使用した場合、破裂や発火、液もれなどの恐れがあります。詳しくは、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

● **電池は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。**

電池内部には有害物質が含まれているため誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

● **電池をショート、加熱、または火の中に入れないでください。**

ショート、加熱、または火の中に入れると、電池が発熱、破裂して、けがや火災の原因になります。万一、内部の液がもれて目に入ったり、液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師にご相談ください。

● **必ず指定の電池を使用し、(+)、(−)を正しく入れてください。**

指定以外の電池を使用したり、電池を正しく入れないと、破裂して、けがや火災の原因になります。また、使い切った電池はすぐに機器から取り出してください。

⚠警告

● **電池を充電、直接はんだ付けしないでください。**

充電、直接はんだ付けすると、破裂して、けがや火災の原因になります。

※：フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、付録の「仕様一覧」をご覧ください。

■無線(ワイヤレス)機能使用上の警告

⚠警告

● **埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品をペースメーカー装着部から30cm以上離してご使用ください。**

電波により影響を受けるおそれがあります。

● **満員電車の中など、人と人とが近接する状態となる可能性のある場所では、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetoothなどの無線機能をオフにしてください。**

これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方と近接する可能性があり、万が一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

● **医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetoothなどの無線機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetoothなどの無線機能をオフにしてください。**

医療機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

● **現在各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、本製品もその該当機器となります。電子機器に影響を与え、事故の原因となることがありますので、機内では本製品の電源を切るか、無線LAN、Bluetoothなどの無線機能をオフにしてください。**

電子機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

● **本製品の無線機能を使用中に他の機器に電波障害を引き起こした場合、すみやかに無線機能をオフにするか、本製品の使用を中止してください。**

機器に影響を与え、誤動作による事故の原因になるおそれがあります。

■周辺機器使用上の警告

⚠警告

● **周辺機器は、マニュアルに記載の手順に従って正しく取り付けてください。**

正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。

注意事項

■本体使用上の注意

⚠注意

● **本製品を次のような場所では使用・保管しないでください。**

・風呂場など湿気の多い場所
・調理台や加湿器のそばなど水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所

感電の原因になります。万一液体が入った場合は、電源をオフにしてNEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。乾いているようでも本機内部に水分が残っていることがあります。

● **本機の使用中や使用直後、バッテリパックの充電中は、温度が高くなる部分がありますので注意してください。**

特に、本体底面、本体背面のコネクタ、液晶ディスプレイの周辺、キーボードのキー、コードを固定するねじ類、ファンの吹き出し口、ACアダプタの表面、バッテリパックやバッテリパックの周辺などが高温になる場合があり、やけどなどのおそれがあります。

● **通風孔からの送風に注意してください。**

通風孔からの排気は室温よりも高い温度となっております。通風孔からの送風に長時間当たることにより、低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。

● **液晶ディスプレイを閉じた状態で使用しないでください。**

内部温度が高くなり、故障、発熱の原因となります。

● **ひざの上で長時間使用しないでください。**

使用中本機底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。
低温やけどは、長時間にわたり一定箇所に発熱体が触れたままになっているときなどに肌に紅斑(こうはん)、水泡(すいほう)などの症状を起こすやけどのことです。肌の弱い方などは、特にご注意ください。

● **使用するソフトによっては、パームレスト部(手をのせる部分)やキーボードのキーが多少熱く感じられることがあります。**

長時間にわたるキーボード等の操作をする場合は、低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。

● **添付のCD-ROM・DVD-ROMディスクは、CD-ROM・DVD-ROM対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。**

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカやCD-ROM・DVD-ROMディスクを破損する原因になります。

⚠注意

- 先のとがったもので液晶ディスプレイ表面に傷を付けないでください。
- 液晶ディスプレイ表面や外枠部分を強く押さないでください。

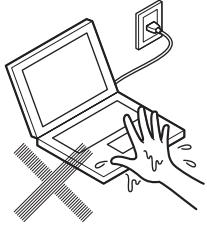
- 液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。

液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄し、直ちに医師にご相談ください。

■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の注意

⚠注意

- ぬれた手で触らないでください。

電源コードがコンセントに接続されているときにぬれた手で本体やACアダプタに触ると、感電の原因になります。

- お手入れの前には、必ず本機や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、バッテリを取り外してください。

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。

■バッテリパック・電池使用上の注意

⚠注意

● **電池を分解しないでください。**

有害物質が出て、人体に悪影響を及ぼすことがあります。

● **電池は直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。**

液もれの原因になります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

● **電池の内部の液がもれたときは、液に触れないでください。**

やけどのおそれがあります。万一液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。

● **種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。**

液もれ、破裂などにより、やけど、けがの原因になることがあります。

● **バッテリパックの取り付け／取り外しをおこなう場合には、指をはさまないよう注意してください。**

けがの原因になります。

● **端子ショート、水もれ、高温環境での放置などは避けてください。**

故障の原因になります。

● **乾電池は、＋極と－極をセロハンテープで絶縁してから、各自治体の指示にしたがって捨ててください。**

発煙、発火の原因になります。

● **本機内部のリチウム電池は、お客様では交換しないでください。なお、なんらかの理由でリチウム電池を捨てる必要がある場合は、＋極と－極をセロハンテープで絶縁してから、各自治体の指示にしたがって捨ててください。**

故障、発煙や発火の原因になります。

Ni-MH
または
Li-ion

不要になった二次電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクルにご協力ください。

二次電池のリサイクルについては、下記のホームページでご確認ください。

http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/battery/

■無線（ワイヤレス）機能使用上の注意

⚠注意

- **補聴器を装着されている方は、本製品の使用により、補聴器にノイズなどを引き起こす可能性がありますので、ご使用前にご確認ください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■健康上の注意

⚠注意

- **ディスプレイを長時間継続して見ないでください。**

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下することがあります。ディスプレイなどの画面を見続けて、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。

- **キーボードやNXパッド、マウスを長時間継続して使用しないでください。**

キーボードやNXパッド、マウスを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなることがあります。キーボードやNXパッド、マウスを使用中、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。

- **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。**

大きな音量で長時間使うと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- **ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを装着した状態でプラグの抜き挿し、本機の電源のオン／オフ、省電力状態／復帰の操作をしないでください。**

聴力に悪い影響を与えることがあります。

製品保護上のご注意

■本機の取り扱い上の注意

● 次のような場所では、使用／保管しないでください。

誤動作や故障の原因になることがあります。

ホコリが多い場所／衝撃や振動が加わる場所／不安定な場所／暖房器具の近く／磁気を発するもの(扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど)の近く／長時間直射日光が当たる場所／落下の可能性がある場所／テレビ、ラジオ、コードレス電話などの近く／熱のこもる場所／水分や湿気の多い場所／夏の閉めきった自動車内

● 次の環境で使用してください。

温度5℃～35℃、湿度20%～80%(結露しないこと)

● 本機を使用する際は、次のことに気をつけてください。

- 落としたりぶつけたりしないよう、平らで十分な強度がある場所で使用してください。
- 結露した状態で使用しないでください。寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着(結露)し、誤動作、故障の原因になることがあります。
- 本機の上にものを載せないでください。また、書類や布などで通風孔をふさがないでください。
- 通風孔のほこりなどは定期的に取り除いてください。通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、本機の故障や機能低下の原因となることがあります。
- 本機のそばで、飲食や喫煙をしないでください。
- 本機を改造しないでください。当社の保証やサービスの対象外となることがあります。
- 先のとがったもので傷付けないでください。特に、指紋センサに傷が付くと、故障や照合精度が落ちる原因になります。
- 静電気に注意してください。本機は静電気によって故障、破損することがあります。本機に触れる前にアルミサッシやドアのノブなどの身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。

● 本機を移動するときには、必ず電源を切り、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

輸送する場合にはノートパソコン用のキャリングバッグやご購入時の梱包箱を利用してください。

● 長時間使用しないときは、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

旅行などで長時間お使いにならないときは、安全のため、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

● 本機に接続されている周辺機器を取り外すときには、必ず接続ケーブルのプラグ部分を持って抜いてください。また、プラグを抜く際は、無理に引き抜いたりこじったりしないでください。

ケーブルを引っぱって取り外したり、プラグを無理に引き抜いたりすると、故障の原因になることがあります。

● ケーブル類は整理してください。

ケーブルを整理しておかないと、つまずいたりひっかけたりして、本機の故障の原因になります。

● 本機の液晶ディスプレイに画面を表示させていると、液晶ディスプレイの周りの一部分があたたかくなることがあります。

これは、表示用電源の熱によるものであり、故障や異常ではありません。本機の電源を切るか液晶ディスプレイを閉じると、表示用電源が切れて温度が下がります。

■ハードディスク取り扱い上の注意

- **振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。**
- **電源を入れたまま本機を動かさないでください。**
- **本機のハードディスク動作中は本機に衝撃や振動を与えないよう、特に注意してください。**
  ハードディスク動作中に外部から強い衝撃を加えると、データが失われるだけでなく、ハードディスクが故障することがあります。
- **本機のハードディスク動作中は、電源を切ったり再起動しないよう、特に注意してください。**
  ハードディスク動作中に電源を切ったり再起動すると、ハードディスクが故障することがあります。

■データのバックアップについて

● バックアップとは

パソコンに保存されているデータをDVDやCDなどのディスク／フロッピーディスク／外付けハードディスクなどに複製(コピー)することを「バックアップを取る」といいます。
パソコンの故障などの異常が起きてご購入後に作成したデータが消えてしまった場合、そのデータをもとに戻すことはできません。
万一の事態に備えて定期的にデータのバックアップを取り、大切なデータを保護しましょう。
DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。なお、外付けDVD/CDドライブでのデータの保存に、DVD-RAMはご利用いただけません。また、フロッピーディスクや外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けフロッピーディスクドライブや外付けハードディスクドライブをご用意ください。

● バックアップを取るタイミング

特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびにバックアップを取ることをおすすめします。また、日時や曜日を決めて定期的にバックアップを取るのもよいでしょう。

■お客様が作成されたデータの保存について

お客様が作成されたデータ(画像データ、映像データ、文書データなど)やプログラム、設定内容が記憶装置(ハードディスクやSSDなど)に記憶されている場合は、お客様の責任においてバックアップをお取りくださいますようお願いします。
お客様が作成されましたデータなどは普段からこまめにバックアップをお取りになることをおすすめします。
本商品の故障や誤動作などにより、記憶装置に記憶された内容が消失したり、使用できない場合がございますが、当社ではその損害の責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■コンピュータウイルスの予防について

● コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、パソコンの動作に悪影響を与える不正なプログラムのことで、インターネットや電子メールなどを通じて感染する可能性があります。コンピュータウイルスに感染すると、感染したパソコンのプログラムやデータが破壊されるばかりでなく、他のパソコンへの感染元となってしまう可能性もあります。
モデルによってはコンピュータウイルスの予防と駆除をするためのソフトが添付されていますので、定期的なチェックをおこなうことをおすすめします。
また、日々増え続けるウイルスに対応するためには、「ウイルス定義ファイル」の更新が必要です。

■メモリーカード取り扱い上の注意

●メモリーカードを取り扱う際は、次のことに気をつけてください。

使用について

- メモリーカードに添付の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- 静電気による故障を防ぐため、静電気を放電してからメモリーカードを取り扱ってください。
- 小型のメモリーカードなど、アダプタが必要なカードは、必ずアダプタを装着してください。
- メモリーカードは、方向を確かめて取り付けてください。
- メモリーカードスロットには、対応以外のメモリーカードを挿入しないでください。
- メモリーカードの読み込み／書き込み中は、本体や周辺機器のメモリーカードスロットからメモリーカードを取り出さないでください。
- メモリーカードやメモリーカードスロットの金属端子部分を触らないでください。
- 裏面に通電性(電気を通す性質)がある金属が使用されているSDメモリーカードやSDHCメモリーカード、変換アダプタは使用しないでください。
- 汚れたメモリーカードは、汚れをとってから本体や周辺機器のメモリーカードスロットに取り付けてください。

取り扱いについて

- 分解しないでください。
- 上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
- 溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
- クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
- ゴミやホコリが多い場所での使用は避けてください。

保管について

- 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
- メモリーカードやアダプタ、メモリーカードスロットにセットされていたダミーカードなどは、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管し、誤って飲み込んだりすることがないようにしてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやホコリが多い所に置かないでください。
- 長期期間使用しないときは、メモリーカードやアダプタを、メモリーカードスロットに取り付けたままにしないでください。
- メモリーカードには、添付の指定ラベル以外を貼らないでください。
- メモリーカードには、指定の貼付箇所以外にラベルを貼らないでください。
- 大切なデータはハードディスクやSSDなどにコピーして、バックアップを取ってください。

■バッテリパック取り扱い上の注意

●バッテリパックは消耗品です。

使用期間が長くなり、何度も充放電を繰り返してきたバッテリパックは、その性能が劣化します。バッテリ駆動時間が短くなってきた場合は、弊社指定の新しいバッテリパックと交換してください。

著しく充電容量の低下したバッテリパック※は、直ちに使用を中止し本体から取り外してください。継続して使用した場合、破裂や発火、液もれなどの恐れがあります。詳しくは、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

●ACアダプタを使用している場合でも、バッテリパックは徐々に劣化します。

ACアダプタを使用していても、長時間、電源を入れたままの状態にしていると、バッテリパックの劣化を早めてしまいます。本体を使用していないときには、電源を切っておくことをおすすめします。

●バッテリ関連Q&A 集もご覧ください。

バッテリについてはJEITA(社団法人 電子情報技術産業協会)の「バッテリ関連Q&A 集」もあわせてご覧ください。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/battery/menu1.htm

※：フルに充電しても、仕様の３割以下しか駆動できないバッテリパック。なお、バッテリ駆動時間の詳細は、付録の「仕様一覧」をご覧ください。

健康のために

パソコンを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業にくらべて次のような症状が起こりやすいと言われています。

・眼が疲れたり、重く感じる
・ものがぼやけてみえる
・疲れやすい
・頚(くび)から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛みを感じたりする

このような症状の感じかたは、作業時間や使用状況などにより個人差が大きいと言われています。次のことを心がけるようにしましょう。

・1時間の作業につき10～15分の休息時間をとる
・休憩時には、軽い体操をするなど、気分転換をはかる

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

■良い作業姿勢をとりましょう

パソコンを使用する際の良い姿勢は、余分な力が入らない、リラックスできる姿勢と言われています。

・背もたれに背中が支えられるよう背すじを伸ばして椅子に座る
・両手を床とほぼ平行にキーボードに置く
・画面を目の高さより低くし、視線がやや下向きになるようにする

■機器をこまめに調節しましょう

機器の調節ができる場合は、使いやすい状態にこまめに調節してください。

● 液晶ディスプレイの角度調節

本機の液晶ディスプレイは、角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、液晶ディスプレイの角度を調節することは大変重要です。

● 画面の輝度(明るさ)調節

個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度は異なります。そのため、画面の輝度は、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要です。
詳しくは、添付のマニュアルをご覧ください。

● キーボードの角度調節

機種によっては、キーボードの角度調節ができるようになっています。好みによって、入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕への負担を軽減するのに大変有効です。

■機器を清掃しましょう

ディスプレイの画面は、ホコリなどで汚れると表示内容が見にくくなる原因になりますので、定期的に清掃する必要があります。

■本機のお手入れ

本機のお手入れの方法については、付録の「パソコンのお手入れ」(p.114)をご覧ください。

PART

1

このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

よく使うボタンなど

このパソコンの添付品の確認、接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチなどについて紹介します。

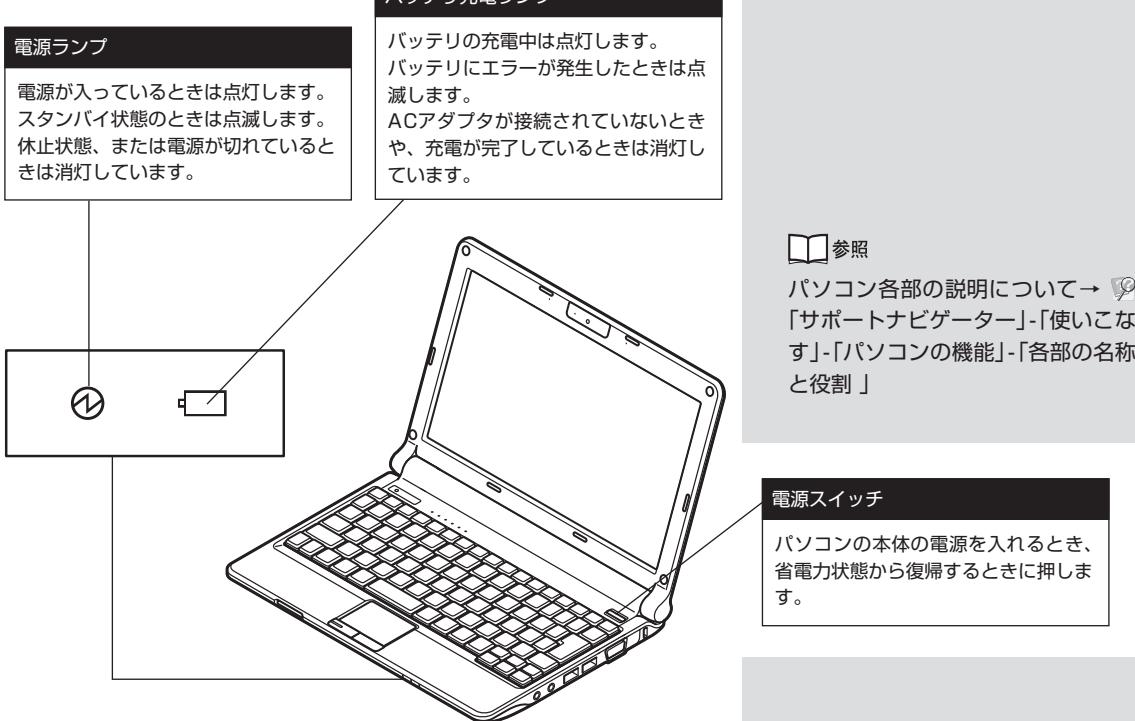
バッテリ充電ランプ

バッテリの充電中は点灯します。
バッテリにエラーが発生したときは点滅します。
ACアダプタが接続されていないときや、充電が完了しているときは消灯しています。

電源ランプ

電源が入っているときは点灯します。
スタンバイ状態のときは点滅します。
休止状態、または電源が切れているときは消灯しています。

電源スイッチ

パソコンの本体の電源を入れるとき、省電力状態から復帰するときに押します。

このほかに、【Fn】+【1】や【Fn】+【2】を押すだけでソフトが起動できる機能があります。このキーの組み合わせを「ワンタッチスタートボタン」と呼びます。ご購入時の設定では、次のキー操作にWebブラウザを閲覧するソフトと電子メールのソフトが割り当てられています。

・【Fn】+【1】…はじめて【Fn】+【1】を押したときに選択した電子メールソフトが起動します。
・【Fn】+【2】…Internet Explorerが起動します。

参照

パソコン各部の説明について→ 「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割 」

チェック!!

はじめて【Fn】+【1】を押したときには、登録できるメールソフト(「Outlook Express」、「Windows Liveメール」)を選択する画面が表示されます(Office 2007モデルでは「Outlook 2007」も選択できます)。お使いになるメールソフトを選択すると、【Fn】+【1】に割り当てられます。

お客様登録のお願い

121wareでは「お客様登録」することで、さまざまなメリットを提供しています。あなたのデジタルライフをグッとオトクに、そしてさらに便利でもっと身近に感じる121wareのサービスを是非ご利用ください。
※法人のお客様としてご使用の場合も、ご登録をおすすめします。
登録料・会費無料

登録するとメリットがたくさん

1　電話での「使い方相談」

使い方を何度でも無料で相談
保有商品を登録すると、購入後1年間※の使い方相談が何回でも無料で利用できます。

2　あなただけのマイページ

マイページは、あなた専用のページです
登録した商品を元に、あなたのパソコンに合ったサポートやサービスに関する情報が表示されます。

3　NEC Directの優待サービス＆ポイントもGet

NEC Directの優待サービスでお買い物。ポイントももらえる
保有商品を登録されているお客様は、NEC Directの優待サービスが受けられます。

その他の特典

買い取り
不要になったパソコンの買い取りサービスがWebからできます。

修理
Webで修理を申し込むと、修理料金が割引されます。

メールニュース
商品広告・活用提案・サポート・キャンペーンなどの情報をお届けします。

※ パソコン本体以外の商品／NEC Refreshed PC（再生パソコン）の「使い方相談」の無料期間は、各商品の保証書に記載の保証期間となります。

お客様登録の方法

お客様登録(お持ちのNEC製品も登録してください)をして、電話の問い合わせのときに必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる際に必要な「ログインID」を取得してください。
ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

インターネットによる登録をおすすめします。
「121wareお客様登録番号」と「ログインID」を同時に取得でき、すぐにインターネットサポートが受けられます。
まだインターネットをお使いになれないお客様にはFAX登録をご用意しております。ただし、FAX登録からでは「121wareお客様登録番号」のみの取得となり、インターネットでのさまざまなサービスがご利用いただけません。
インターネットが使えるようになり次第、「ログインID」の取得をおすすめします。

インターネット登録(推奨)

インターネットに接続して、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のマイページ(http://121ware.com/my/)から登録します。詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

FAX登録

お手持ちのFAXから「0120-977-121」(フリーコール)に電話します。
ご希望の窓口案内のアナウンスが流れますので、FAX情報サービス窓口番号である「9」を押します。
FAX情報サービスにつながりますので、アナウンスにしたがい、BOX番号3002と#を押し、お客様登録用紙を取り出してください。必要事項をご記入の上、FAXでお送りください。

チェック!!
すでにお客様登録がお済みのお客様は、保有商品の追加登録をお願いいたします。「121ware.com」のマイページ(http://121ware.com/my/)内の「保有商品情報」で、ご購入いただいた商品を追加することができます。

チェック!!
登録の前に、インターネット接続の設定が必要です。

チェック!!
FAX用紙はNECパソコン情報FAXサービスから取り出してください。
電話番号はよくお確かめになり、お間違えのないようにおかけください。

SDメモリーカードの扱い方

このパソコンで使えるSDメモリーカードの種類や取り扱い上の注意、SDメモリーカードのセットのしかたを説明します。

このパソコンでは「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」を使うことができます。「miniSDカード」、「microSDカード」も使用できます。ただし、市販のアダプタが必要になります。

SDメモリーカードの取り扱い上の注意

- Windows上でSDメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグをおこなわないでください。
- SDメモリーカードにデータを保存中または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。また、データの保存中はスタンバイ状態や休止状態にしないでください。SDメモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「SDメモリーカードスロット」をご覧ください。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。メモリーカードの説明書をよく読んでから使用してください。
- 大切なデータはハードディスクやSSDなどにコピーして、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカードを読み込めない場合は、メモリーカード内のファイルに対応するソフトがパソコンにあるかを確認してください。携帯電話の機種やダウンロードサービスの種類によっては、専用のソフトをパソコンにインストールする必要があります。
- 携帯電話からメモリーカードにダウンロードした音楽データなどは、エクスプローラなどからパソコンにコピーしても利用できないことがあります。携帯電話の機種によって異なりますので、詳しくは携帯電話の説明書をご覧ください。
- 誤った操作による故障やメディアの取り出しは有償となりますのでご注意ください。
- その他の注意事項については「安全にお使いいただくために」の「■メモリーカード取り扱い上の注意」(p.21)をご覧ください。

SDメモリーカードの取り付け方と取り外し方

●SDメモリーカードを取り付ける方法

1 SDメモリーカードの向きに注意して、SDメモリーカードスロットに奥までしっかり差し込む

表面を上にして差し込んでください。

●SDメモリーカードを取り外す方法

1 画面右下の通知領域にある をクリックすると表示される「××××を安全に取り外します」で、取り外す機器名をクリックする

「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。画面右下の通知領域に が表示されていないときは、 をクリックしてください。

2 SDメモリーカードを軽く押す

SDメモリーカードが少し出てきます。

3 SDメモリーカードを水平に引き抜く

チェック!!

初めてご使用になるときは、SDメモリーカードスロットにダミーカードが取り付けられています。次の「SDメモリーカードを取り外す方法」をご覧になり、同様の手順でダミーカードを取り外してください。

チェック!!

- 「miniSDカード」、「microSDカード」を使う場合は、アダプタに差し込んでおいてください。アダプタの装着方法について詳しくは、SDメモリーカードまたはアダプタの説明書をご覧ください。
- SDメモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、SDメモリーカードの説明書をご覧ください。
- メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「SDメモリーカードスロット」をご覧ください。

チェック!!

- SDメモリーカードスロットアクセスランプ点灯中は、SDメモリーカードスロットに差し込まれているSDメモリーカードを絶対に取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因になります。
- miniSDカード、microSDカードなどのアダプタを使用して差し込んでいる場合、スロット内にアダプタを残したままにしないようにご注意ください。

インターネットに接続するには

このパソコンでインターネットを利用するために必要な準備を説明します。

インターネットを楽しむための準備

このパソコンでインターネットを楽しむには、次の準備が必要です。
ご家庭で、現在インターネットを利用していない場合は、各回線業者、プロバイダに申し込みをしてください。

●インターネット回線

FTTH、ADSLなどのインターネット回線が必要です。
ご家庭にインターネット回線が無い場合は、回線業者との契約が必要です。

●プロバイダとの契約

プロバイダ(インターネット接続業者)との契約が必要です。
まだ契約をしておらず、特にプロバイダを決めていない場合、BIGLOBEに入会することをおすすめします。

チェック!!

このパソコンでは、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続することはできません。
現在、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続している場合、契約の変更などが必要になります。

接続設定の進め方

インターネット接続の方法によって、接続、設定方法が異なります。

●ワイヤレスLANでインターネットに接続する場合

このPARTの「ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続の準備」(p.32)をご覧ください。

●有線LANでインターネットに接続する場合

このPARTの「LANケーブルを利用したブロードバンド接続の準備」(p.41)をご覧ください。

ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続の準備

無線でインターネットに接続するための準備について説明します。

ワイヤレスLAN機能について

ワイヤレスLANとは、LANケーブルを無線(ワイヤレス)にしたものです。ワイヤレスLANを活用すれば、たくさんのケーブルが必要だったインターネット接続が変わります。

●家の中で

ブロードバンドを利用するときは、パソコンとネットワーク機器をLANケーブルで接続します。ワイヤレスLANを使うと、この部分のケーブル接続が不要になります。
ワイヤレスLANの規格や使用環境にもよりますが、ワイヤレスLANの電波は、建物の壁などもある程度越えて届きます。ワイヤレスLANを導入すれば、パソコンの設置場所や持ち運びがもっと自由になり、使い方が広がります。

●外出先で

最近は、「無線LANスポット」と呼ばれる公衆ワイヤレスLANサービスも増えてきました。これは、ワイヤレスLANを用いたネットワークをホテルや飲食店などに設置し、利用客に無料または有料で、インターネット接続環境を提供するものです。
外出先でも自分のノートパソコンを使ってインターネットに接続できるため、頻繁にパソコンを持ち歩くかたに便利なサービスです。

チェック!!

ワイヤレスLANは便利ですが、セキュリティの対策をしっかりしないと、外部からネットワークに入られて無断で利用され、情報を読まれてしまう危険があります。ワイヤレスLANを使うときは、暗号化など、セキュリティをしっかり設定してください。

ワイヤレスLANの種類

ワイヤレスLANには現在、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11a、およびDraft IEEE802.11nの4種類があり、組み合わせによっては接続できない場合もあるので注意が必要です。
このパソコンでは、IEEE802.11b、IEEE802.11g、およびDraft IEEE802.11n(2.4GHz)に対応しています。IEEE802.11aには対応していません。
ワイヤレスLANそれぞれの種類には、次のような特徴があります。

	規格上の理論値（通信速度）※	周波数	特　徴
IEEE802.11b	最大11Mbps	2.4GHz	対応機器が多く、互換性が高い規格
IEEE802.11g	最大54Mbps	2.4GHz	・IEEE802.11bよりも高速な通信が可能 ・IEEE802.11b対応機器との通信も可能
IEEE802.11a		5GHz	電波干渉の問題が少ない このパソコンでは対応していません。
Draft IEEE802.11n	最大300Mbps	2.4GHz/5GHz	・現在、もっとも高速な通信が可能 ・IEEE802.11b、IEEE802.11g対応機器との通信も可能 ・IEEE802.11a対応機器との通信も可能 このパソコンでは周波数5GHzには対応していません。このパソコンでは、理論上の最大通信速度は150Mbpsとなります。

※ 各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記です。通信の実効速度はこの通信モードの50%以下になります。通信速度は、パソコンと相手機器との間の電波状態や距離によっても変化します。詳しくは、付録の「仕様一覧」をご覧ください。

設定に必要なもの

ワイヤレスLANの設定には、次のものが必要です。

●回線事業者やプロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。

●回線終端装置またはモデム

ブロードバンド回線の種類によって次のような機器が必要です。詳しくは、入会申し込みの時点でプロバイダにご確認ください。

- FTTH：回線終端装置（回線工事で設置）
- ADSL：ADSLモデム
- CATV：ケーブルモデム（CATV開通工事で設置）

チェック!!
お使いの機器やプロバイダにより設定は大きく異なります。お使いの機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書、メーカやプロバイダのホームページなどで設定を確認してください。

●ワイヤレスLANアクセスポイントまたはワイヤレスLANルータ

お使いのブロードバンド回線の種類やモデムの種類によって次のような機器が必要です。

◆ワイヤレスLANアクセスポイント(ブリッジタイプ)

次のような場合、ワイヤレスLANアクセスポイント(ブリッジタイプ)が必要です。

・ルータ機能のあるモデムをお使いの場合
・ワイヤレスLAN機能のないルータ(有線)を使って、インターネットに接続している場合

◆ワイヤレスLANルータ(ルータタイプのワイヤレスLANアクセスポイント)

次のような場合、ワイヤレスLANルータ(ルータタイプのワイヤレスLANアクセスポイント)が必要です。

・ルータ機能のないモデムをお使いで、複数のパソコンでインターネットに接続するなどルータ機能が必要な場合

チェック!!

・ADSLの場合、ADSLモデムにワイヤレスLANアクセスポイント機能が内蔵されているものもあります。
・機器を購入するときは、このパソコンと通信できるかどうかを確認してください。
・機器を購入するときは、お使いのモデムや回線終端装置の種類を確認してください。
・ワイヤレスLANルータでルータ機能を無効にして、ワイヤレスLANアクセスポイント(ブリッジタイプ)として利用できる場合もあります。

設定中に出てくるワイヤレスLANの用語について

機器やメーカにより、記載されている用語が異なることがあります。次の説明を参考にしてください。

●ネットワーク名、SSID(Service Set IDentifier)

このマニュアルでは「ネットワーク名(SSID)」と記載しています。
ワイヤレスLANを構成するワイヤレスLANアクセスポイントと端末に付けられた識別子のことで、ワイヤレスLANをグループ化するために用いられます。ワイヤレスLANアクセスポイントと端末で同じSSIDが設定されていないと通信することはできません。ワイヤレスLAN接続ツールによっては、ESS-ID(Extended Service Set IDentifier)と記載している場合もあります。

●ステルス機能

ワイヤレスLANアクセスポイントのSSIDを隠す機能です。この機能が有効になっていると、パソコン側からワイヤレスLANアクセスポイントを検索することができません(ネットワーク名(SSID)を通知しない)。
セキュリティ機能はステルス機能を無効にする(ネットワーク名(SSID)を通知する)よりも高いのですが、ネットワークプロファイルを手動で設定する必要があります。

●セキュリティキー、WEP(Wired Equivalent Privacy)キー

このマニュアルでは「セキュリティキーまたはパスフレーズ」と記載しています。
データを暗号化する鍵のことです。暗号キーまたはネットワークキーと記載される場合もあります。ワイヤレスLAN通信時に、第三者からの盗聴を防ぐために使用します。
パスフレーズと記載している場合もあります。

ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続をする

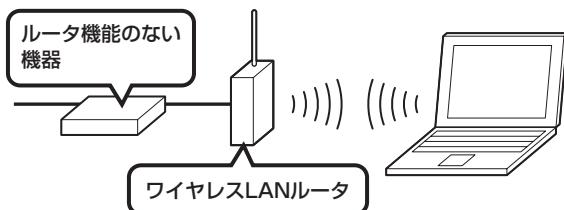
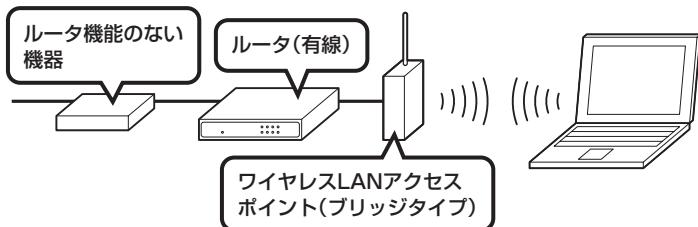
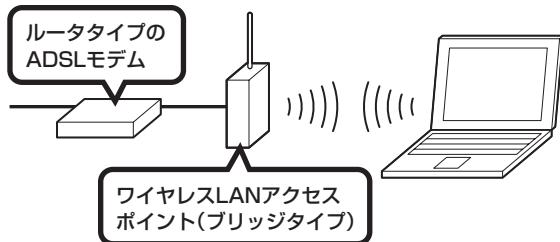
ワイヤレスLANの接続と設定をおこないます。

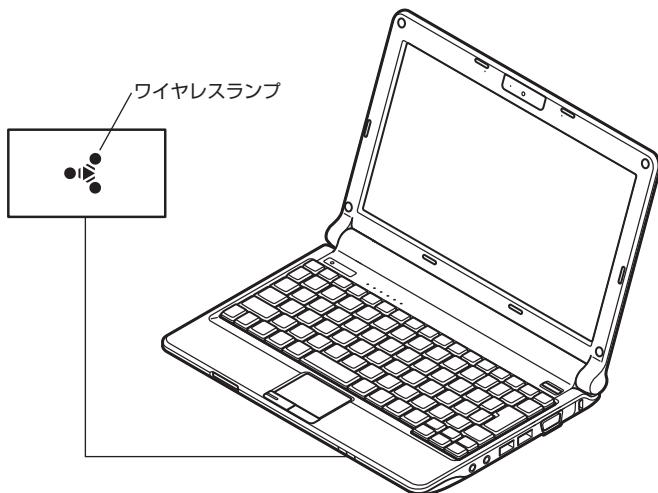
ワイヤレスLAN機能をオンにする

あらかじめ、「ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続の準備」(p.32)を読んで必要なものを準備してください。

1 **機器を接続する**

詳しい接続方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書、メーカやプロバイダのホームページなどをご覧ください。
FTTHの回線終端装置やADSLモデムをお使いの場合、次のように接続します。

回線終端装置やルータ機能のないADSLモデムの場合

回線終端装置やルータ機能のないADSLモデムの場合(ルータ(有線)を利用する場合)

ルータ機能のあるADSLモデムの場合

2 **キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押す**

ワイヤレスLAN機能がオンになり、ワイヤレスランプが点灯します。

・ご購入時の状態では、ワイヤレスLAN機能はオフになっています。

・ワイヤレスLAN機能がオンのときは、ワイヤレスランプが点灯します。

・もう一度キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押すと、ワイヤレスLAN機能がオフになり、ワイヤレスランプが消灯します。

ワイヤレスLAN機能がオフになっていると接続できません。

接続する機器の設定について

ワイヤレスLANの接続では、接続するワイヤレスLANアクセスポイントがネットワーク名(SSID)を通知する設定になっているか、通知しない設定(ステルス機能が有効)になっているかでパソコンの設定が異なります。あらかじめお使いの機器のマニュアルをご覧になり、設定を確認しておいてください。

チェック!!

- ネットワーク名(SSID)は、通知しない設定にする方が、不正アクセスなどへのセキュリティが高まります。
- 手順中に出てくるネットワークキーやセキュリティの設定などについて、詳しい内容は「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」に説明があります。そちらも参照してください。
- 機器によっては、パソコンの設定をする前に、ユーザー名やパスワードなどの接続情報を設定する場合もあります。機器に添付されている説明書などの記載にしたがってください。

ワイヤレスLANの設定を表示する

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリック

3 「ネットワーク接続」をクリック

4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリック

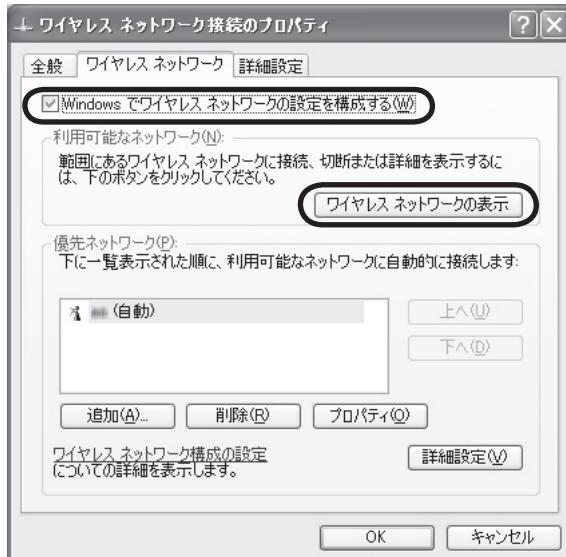
「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」が表示されます。

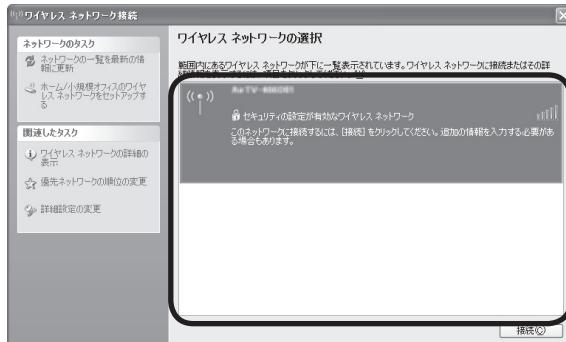
ここからの手順は、接続するワイヤレスLANアクセスポイントの設定によって異なります。

- ネットワーク名(SSID)を通知するワイヤレスLANアクセスポイント
  →次の「ネットワーク名(SSID)を通知するワイヤレスLANアクセスポイントに接続する」へ進んでください。
- ネットワーク名(SSID)を通知しないワイヤレスLANアクセスポイント
  →「ネットワーク名(SSID)を通知しないワイヤレスLANアクセスポイントに接続する」(p.39)へ進んでください。

ネットワーク名(SSID)を通知するワイヤレスLANアクセスポイントに接続する

1 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の「ワイヤレスネットワーク」タブをクリック

2 「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」が☑になっていることを確認し、「ワイヤレスネットワークの表示」をクリック

「ワイヤレスネットワーク接続」が表示されます。

3 接続するアクセスポイントを選んでダブルクリック

接続するネットワーク名が表示されない場合は、画面左の「ネットワークの一覧を最新の情報に更新」をクリックしてください。

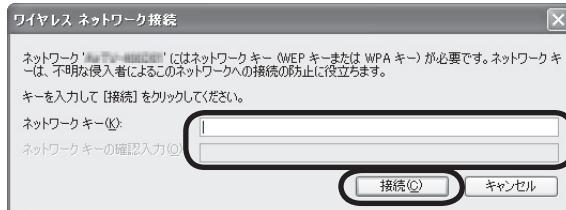
それでもネットワーク名が表示されない場合は、通知領域のを右クリックし、「修復」を選択してください。

チェック!!

ネットワーク名(SSID)が表示されない場合は、次の理由が考えられます。

- 電波の状態が悪い。
  電波が確実に届く範囲内に移動して作業してください。
- ワイヤレスLAN アクセスポイントが、ネットワーク名(SSID)を通知しない設定になっている。
  ワイヤレスLANアクセスポイントのマニュアルなどを見て、設定を確認してください。ネットワーク名(SSID)を通知しない場合の設定については、「ネットワーク名(SSID)を通知しないワイヤレスLANアクセスポイントに接続する」(p.39)をご覧ください。

4 **ネットワークキーを設定し、「接続」をクリック**

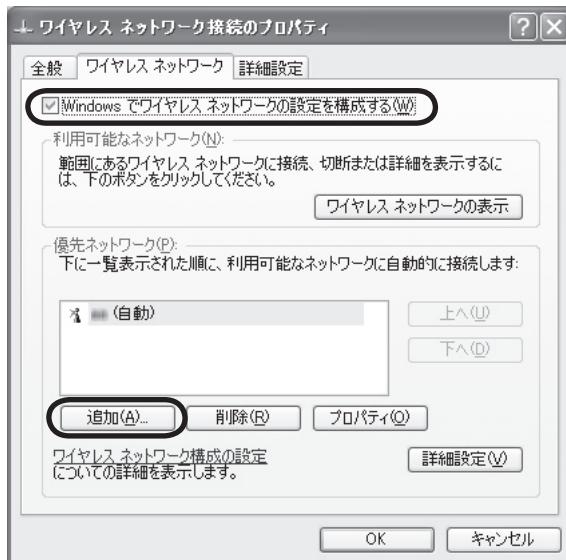
ネットワークキーは、通信をおこなうワイヤレスLANアクセスポイントのネットワークキーと同じに設定します。

デスクトップ画面右下の通知領域にが表示され、ワイヤレスLANが接続されます。

チェック!!

- 接続相手側機器がセキュリティ機能を無効にしているときは、警告のメッセージが表示されます。画面の内容を確認して操作してください。
- 画面右下に、が表示されている場合、またはが表示され続ける場合は、ネットワークキー(暗号キー、WEPキー、セキュリティキー、パスフレーズとも呼ばれます)が正しいか確認してください。

ネットワーク名(SSID)を通知しないワイヤレスLANアクセスポイントに接続する

1 **「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の「ワイヤレスネットワーク」タブをクリック**

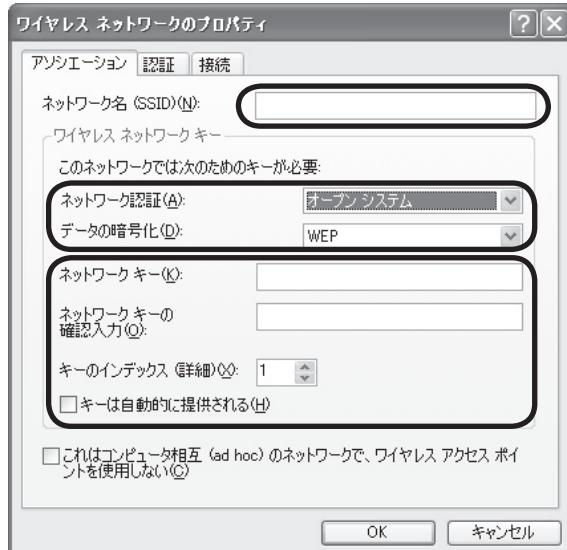
2 **「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」がになっていることを確認し、「追加」をクリック**

3 **ネットワーク名とワイヤレスネットワークキーの設定をおこなう**

「ネットワーク名(SSID)」、「ワイヤレスネットワークキー」は、接続するワイヤレスLANアクセスポイントと同じに設定してください。

4 **「OK」をクリック**

「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面が閉じます。

5 **「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の「OK」をクリック**

デスクトップ画面右下の通知領域にが表示され、ワイヤレスLANが接続されます。

チェック!!
接続相手側機器がセキュリティ機能を無効にしている場合は、「データの暗号化」を「無効」にしてください。ネットワークキーを入力する必要はありません。

チェック!!
画面右下に、が表示されている場合、またはが表示され続ける場合は、ネットワークキー（暗号キー、WEPキー、セキュリティキー、パスフレーズとも呼ばれます）が正しいか確認してください。

設定が完了したら

ワイヤレスLANルータ、ルータタイプのモデム、ルータ(有線)などを使用している場合は、接続情報を設定、登録してください。詳しくは、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書、メーカやプロバイダのホームページなどをご覧ください。
その後、「ルータを利用したブロードバンド接続の設定」(p.43)の手順2以降をおこなってください。すべての設定が終わったら、「インターネットに接続する」(p.48)へ進み、インターネットへの接続を試してください。

チェック!!
接続情報を設定、登録しないと、このパソコンでの設定が終わってもインターネットに接続できません。

LANケーブルを利用したブロードバンド接続の準備

LANケーブルでインターネットに接続するための準備について説明します。

設定に必要なもの

LANの設定には、次のものが必要です。

●回線事業者やプロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、回線事業者から入手した接続設定用マニュアルなどがある場合、そのマニュアルにしたがって設定をおこなってください。

●LANケーブル

回線終端装置などに添付されていなければ、LAN(ラン)ケーブルをお買い求めください。LANケーブルには「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の2種類があります。パソコンと回線終端装置などのインターネット接続機器をつなぐときは、ストレートケーブルを使用してください。

●インターネット接続機器

ブロードバンド回線の種類によって次のような機器が必要です。詳しくは、入会申し込みの時点でプロバイダにご確認ください。

- FTTH:回線終端装置(回線工事で設置)
- ADSL:ADSLモデム
- CATV:ケーブルモデム(CATV開通工事で設置)

●ルータを使う場合

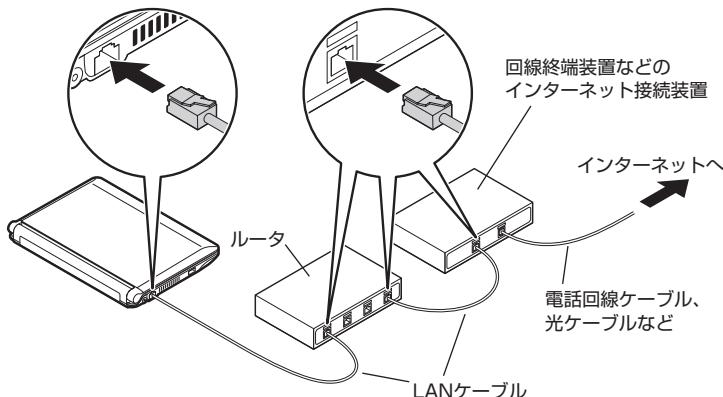
ルータを使う場合は、さらに次の機器や資料が必要になります。

- ルータ
- ルータに添付されているマニュアル

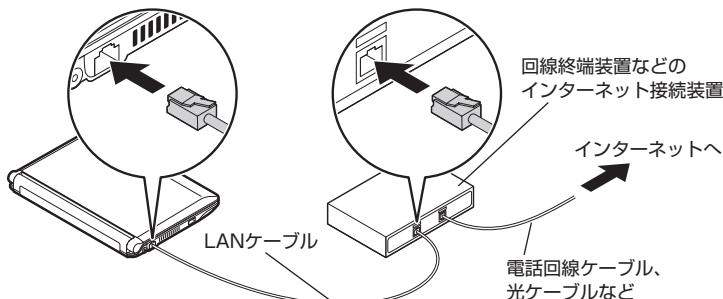
チェック!!

ここで説明している設定や流れは、あくまでも一例です。お使いの機器やプロバイダにより設定は大きく異なります。プロバイダから入手した説明書や、プロバイダのホームページなどで設定を確認することをおすすめします。

機器を接続する

ルータを利用する場合

ルータとパソコンを接続したら、ユーザー名やパスワードなどの接続情報をルータに設定、登録してください。設定については、「ルータを利用したブロードバンド接続の設定」(p.43)を参考にしてください。ルータのマニュアルやプロバイダから入手した説明書、資料がある場合は、それにしたがって設定してください。

チェック!!

- ルータタイプのADSLモデムは、パソコンに直接接続します。
- ケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。

ルータを利用しない場合

ケーブルを接続したら、インターネットへの接続設定をおこないます。設定については、「ルータを利用しないブロードバンド接続の設定」(p.45)を参考にしてください。ご加入のプロバイダや回線事業者から入手した資料がある場合は、それにしたがって設定してください。

チェック!!

ケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。

ルータを利用したブロードバンド接続の設定

ブロードバンドの通信回線が開通したら、パソコンを通信回線に接続して、設定をおこないます。

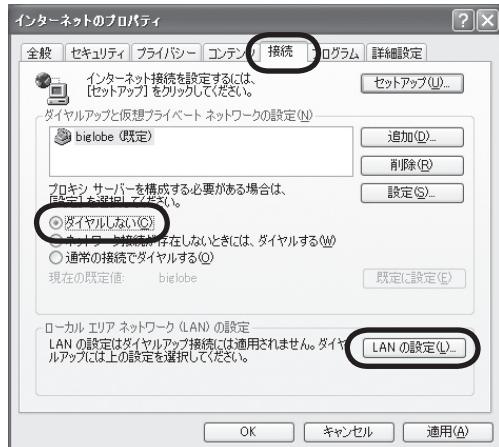
インターネットのプロパティを表示する

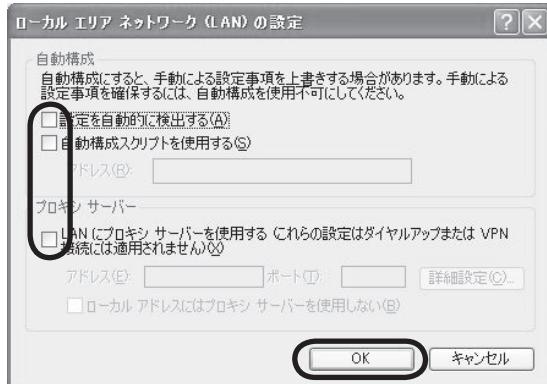
1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリック

3 「インターネット接続のセットアップや変更を行う」をクリック

「インターネットのプロパティ」が表示されます。

4 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」をクリックしたら、「LANの設定」をクリック

チェック!!
「ダイヤルしない」をクリックできないときは、そのまま「LANの設定」をクリックして、次の手順に進んでください。

5 **図の各項目が□になっていることを確認し、「OK」をクリック**

「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面が閉じます。

6 **「インターネットのプロパティ」画面の「OK」をクリック**

画面が閉じます。

7 **パソコンを再起動する**

「スタート」-「終了オプション」をクリックし、表示された画面で「再起動」をクリックします。
しばらくすると、パソコンの電源が切れ、自動的にもう一度電源が入ります(再起動)。

これで、ルータを利用したブロードバンド接続の設定は完了です。
「インターネットに接続する」(p.48)へ進んでインターネットへの接続を試してください。

☑になっている項目があるときは、クリックして□に変更してください。

ルータを利用しないブロードバンド接続の設定

ブロードバンドの通信回線が開通したら、パソコンを通信回線に接続して、設定をおこないます。

「新しい接続ウィザード」で設定をする

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリック

3 「ネットワーク接続」をクリック

4 「新しい接続を作成する」をクリック

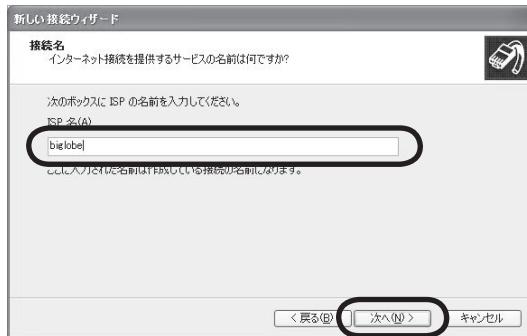
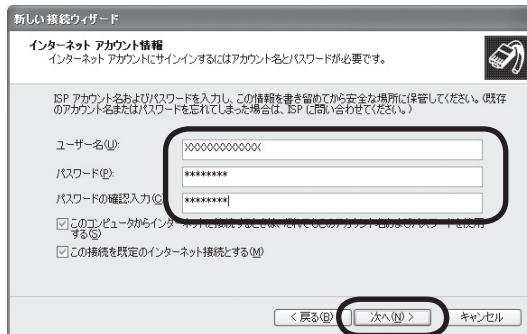
「新しい接続ウィザード」が表示されます。

5 「次へ」をクリック

6 「インターネットに接続する」をクリックして、「次へ」をクリック

7 「接続を手動でセットアップする」をクリックして、「次へ」をクリック

8 「ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する」をクリックして、「次へ」をクリック

9 「ISP名」欄に入会したプロバイダの名前を入力して、「次へ」をクリック

10 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」を入力して、「次へ」をクリック

●ユーザー名とは

プロバイダに接続するための識別番号で、BIGLOBEの場合は「ユーザID」と呼ばれます。プロバイダから送られた会員証などで確認してください。「ログインID」、「アカウント名」などと呼ばれることもあります。

●パスワードとは

本人であることを証明するための暗証番号です。プロバイダから送られた会員証などで確認してください。「接続パスワード」などと呼ばれることもあります。

11 「完了」をクリック

「完了」をクリックすると、「新しい接続ウィザード」の画面が閉じ、プロバイダに接続するための画面が開きます。ここでは、「キャンセル」をクリックして、次に進んでください。

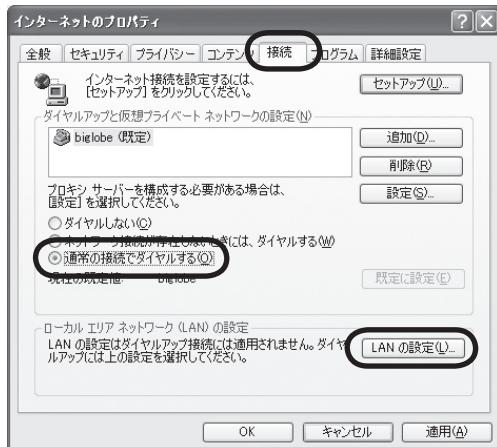
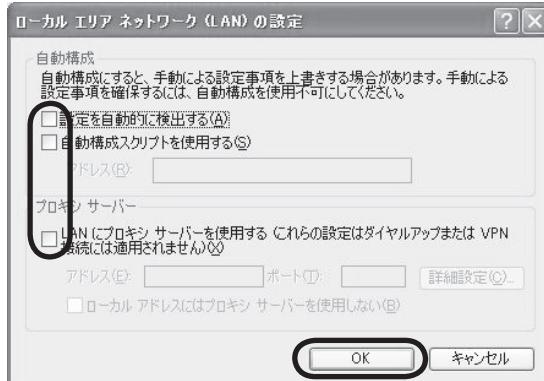
「インターネットのプロパティ」で「LANの設定」をする

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリック

3 「インターネット接続のセットアップや変更を行う」をクリック

「インターネットのプロパティ」が表示されます。

4 「接続」タブをクリックし、「通常の接続でダイヤルする」をクリックしたら、「LANの設定」をクリック

5 図の各項目が□になっていることを確認し、「OK」をクリック

「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面が閉じます。

6 「インターネットのプロパティ」画面の「OK」をクリック

画面が閉じます。

これで、ルータを利用しないブロードバンド接続の設定は完了です。
次の「インターネットに接続する」へ進んでインターネットへの接続を試してください。

☑になっている項目があるときは、クリックして□に変更してください。

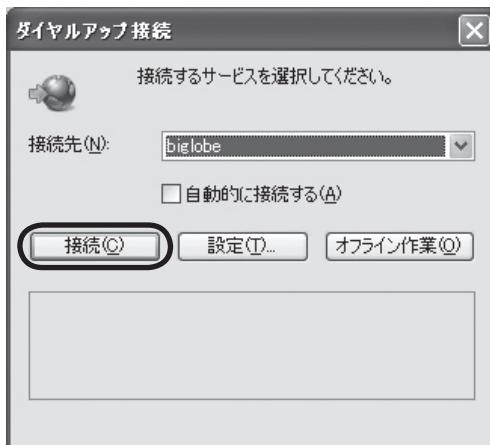
インターネットに接続する

インターネットに接続できるか確認します。

Internet Explorerを起動する

1 「スタート」-「インターネット」をクリック

●ルータを利用しない場合

次の接続用画面が表示されます。

「接続」をクリックすると、Internet Explorer(インターネットエクスプローラ)が起動して、プロバイダのホームページなどが表示されます(設定によっては、パスワードを入力する画面が表示されます)。

●ルータ、ルータタイプのADSLモデム、ワイヤレスLAN ルータを利用している場合

ルータ、ルータタイプのADSLモデム、ワイヤレスLANルータを利用している場合、接続用の画面は表示されず、直ちにInternet Explorerが起動して、プロバイダのホームページなどが表示されます。これは、パソコンの電源を入れると自動的にインターネットに接続されるためです。

これで、インターネット接続の設定は終わりです。
続けて「メールソフトを設定する」(次ページ)へ進んでください。

メールソフトを設定する

このパソコンには、メールをやりとりするためのソフト「Outlook Express」が用意されています。

> チェック!!
> FTTHやADSLで接続する場合、使用する機器やプロバイダによっては、ここでの説明とは異なる設定が必要になることがあります。プロバイダの資料やホームページに設定例などが記載されている場合は、そちらも併せてご覧になり、設定することをおすすめします。

設定に必要なもの

メールの設定には、次のものが必要です。

●プロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、メールで使用するユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手したメール設定用マニュアルなどがある場合、そのマニュアルにしたがって設定をおこなってください。

Outlook Expressの初期設定をする

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Outlook Express」をクリック

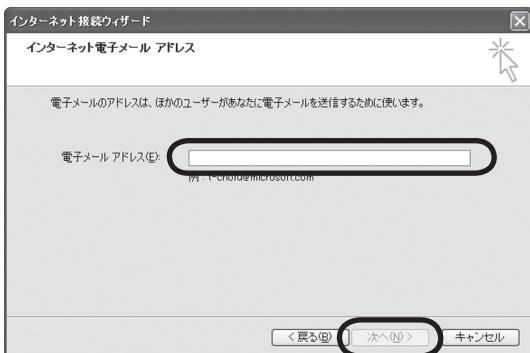
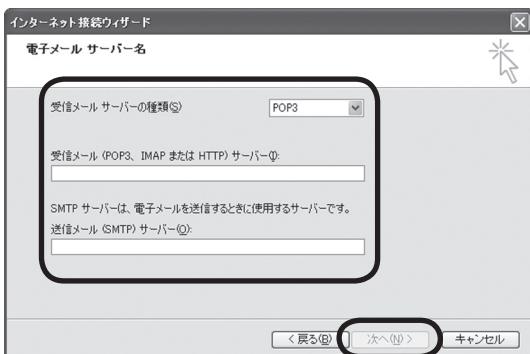
「インターネット接続ウィザード」が表示されます。

2 「表示名」に自分の名前を入力して、「次へ」をクリック

> チェック!!
> Office 2007モデルでは、メールソフトとして「Outlook 2007」を使うこともできます。

> 参照
> Outlook 2007について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「Outlook 2007」

> メモ
> 「表示名」に入力する名前は、日本語、アルファベット、どちらで入力してもかまいません。ここで入力した名前は、メールを送信するときに送信者として相手に表示されます。

3 利用する電子メールアドレスを入力して、「次へ」をクリック

4 「受信メールサーバーの種類」を選び、「受信メールサーバー」、「送信メールサーバー」を入力して、「次へ」をクリック

各用語の意味は次の通りです。

●受信メールサーバーの種類

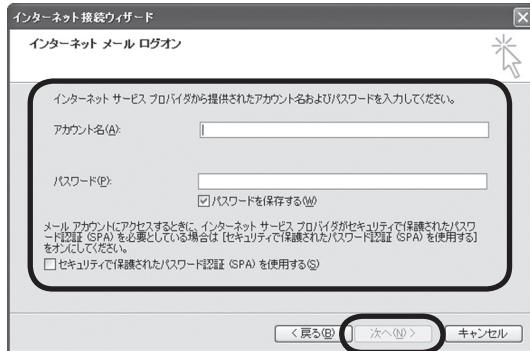
ほとんどのプロバイダは「POP3」という種類のサーバーを使っています。プロバイダが「IMAP」という種類のサーバーを使っている場合は「IMAP」を選びます。詳しくはプロバイダに確認してください。

●受信メールサーバー

プロバイダの会員証などを見て、アドレスを入力します。プロバイダによっては、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」などと呼ばれることもあります。

●送信メールサーバー

会員証などを見て、アドレスを入力します。プロバイダによっては、受信メールサーバーと送信メールサーバーのアドレスは同じことがあります。「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」などと呼ばれることもあります。

5 「アカウント名」、「パスワード」を入力して、「次へ」をクリック

各用語の意味は次の通りです。

●アカウント名

会員証などを見て、アカウント名として記載されているものを入力します。「メールアカウント」、「メールサーバーログイン名」、「POPアカウント名」、「メールログイン名」などと呼ばれることもあります。

●パスワード

会員証などを見て、メールパスワードとして記載されているものを入力します。「メールサーバーパスワード」などと呼ばれることもあります。

6 「完了」をクリック

これで、メールを使うための設定は完了です。
メールの使い方について詳しくは、Outlook Expressのヘルプをご覧ください。

パソコンを安全に使うための設定をおこなう

コンピュータウイルスなどからパソコンを守るために気をつけたい点について説明しています。

パソコンやインターネットを安全に使うために

パソコンの誤動作や内部のデータ破壊を引き起こす、ウイルスなどの不正プログラムの被害が多くなっています。電子メールのやりとり、インターネット経由のソフト入手、他人から受け取ったディスクの使用などが原因になって、知らないうちに不正プログラムがパソコンに侵入することもあります。これらの被害を防ぐには、定期的な対策が必要です。

パソコンをウイルスから守るために(1)

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムのことです。インターネットやメールからパソコンに入り込んだり、CDやDVD、各種メモリーカードなどのメディアから感染する場合もあります。

ウイルスによる被害は、自分のパソコンのデータが破壊されたり個人情報が流出したりするだけでなく、ほかの人へ大量の電子メールが自動的に送信されることもあります。自覚がないまま加害者になり得る可能性もあるのです。

「ウイルスバスター」を最新の状態に更新する

このパソコンには、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」が入っていて、パソコンをウイルスから守ることができます。しかし、ウイルスは日々新しいものが出てくるので、新しいウイルスに対応するために、ソフトを常に最新の状態に更新(「アップデート」といいます)してウイルスチェックをしなければなりません。

このパソコンの「ウイルスバスター」では、ユーザー登録後はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料でアップデートをおこなうことができます。90日間の無料期間を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続してご利用いただくには、ダウンロード販売またはパッケージなどで製品版を購入し、ライセンスキーを入力していただく必要があります。

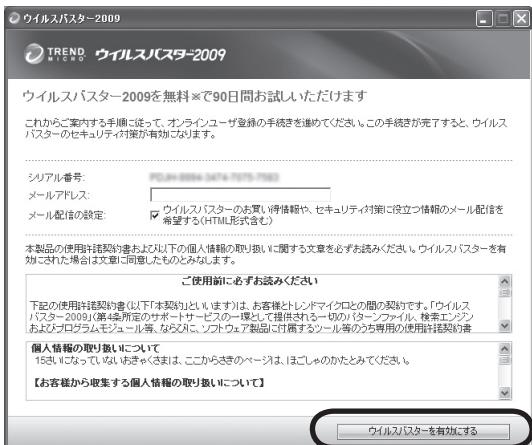
有料のサービスについて詳しくは、無料サービスの開始時に登録したメールアドレス宛に配信されるメールなどの案内をご確認ください。

チェック!!

アップデートするには、インターネット接続の設定が必要です。

アップデートのしかた

パソコンをご購入後、アップデートする場合は、まずインターネットに接続をして、90日間無償サポートを受けるため、ユーザー登録をおこなう必要があります。

インターネット接続の設定が終わった後、画面右下のを右クリックして「メイン画面を起動」をクリックし、表示された画面で「オンラインユーザー登録」欄の「アップデート機能を利用できません」をクリックします。ユーザー登録の画面が表示されたら、記載内容をよく読み、必要事項を入力してから「アップデート機能を有効にする」をクリックしてください。

> **チェック!!**
> パソコンをご購入後、はじめてインターネットに接続してから3日間はユーザー登録をしていなくても自動的にアップデートがおこなわれます。

> **参照**
> ウイルスバスターの登録のしかたや、アップデートの方法について→「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを使い始める」

パソコンをウイルスから守るために(2)

ウイルスの侵入を常にチェックする

「ウイルスバスター」には、ウイルスの侵入を常に監視する機能があります。その機能を「ウイルス/スパイウェアの監視」といいます。「ウイルス/スパイウェアの監視」を有効にしている間は、ウイルスの侵入が自動的に監視されます。
ご購入時の状態では、ウイルスの侵入を常に監視する(「ウイルス/スパイウェアの監視」が有効)設定になっています。通常はこの状態でお使いください。画面右下のを右クリックして表示されるリストの「ウイルス/スパイウェアの監視」左側にが付いていないときは、「ウイルス/スパイウェアの監視」は無効です。が付いているときは有効です。
「ウイルス/スパイウェアの監視」を有効にしている間は、ウイルスの検査が頻繁におこなわれるため、ほかのソフトの動作が遅くなることがあります。ウイルスに対して安全な状況であるとわかっている場合、「ウイルス/スパイウェアの監視」を一時的に無効にすることができます。
また、パソコンや周辺機器の設定、インターネット接続の設定をするときなどに、ウイルスチェックを停止するよう指示が表示される場合があります。その場合も、「ウイルス/スパイウェアの監視」を一時的に無効に設定してください。
「ウイルス/スパイウェアの監視」の有効/無効設定について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルスを見張る」をご覧ください。

その他のウイルス対策ソフトを使う

「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトを使うこともできます。

「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトを使用する場合は、必ず「ウイルスバスター」を削除(アンインストール)してください。

参照

ウイルスバスターの削除方法について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ウイルスバスター」の「追加方法と削除方法」

お子様を有害ホームページから守るために

インターネットにアクセスすると、さまざまなホームページを閲覧できます。しかし、有害な情報や違法情報を含むホームページもあります。
このようなホームページへのアクセスを自動的に遮断してくれるフィルタリング機能を使うことをおすすめします。
フィルタリングには、パソコンにフィルタリングソフトを追加して利用する方法と、インターネットプロバイダのフィルタリングサービスを利用する方法があります。お使いのプロバイダがフィルタリングサービスをおこなっているかは、各プロバイダにお問い合わせください。
利用者それぞれに適した設定ができるため、お子様も安心してインターネットを楽しめるようになります。
詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「安全に使うためのポイント」-「お子様を有害ホームページから守るために」をご覧ください。

外出先でブロードバンドを楽しむには

外出先で公衆ワイヤレスLANサービスを利用する方法について説明します。

公衆ワイヤレスLANサービス

公衆ワイヤレスLANサービスを利用すると、外出先で手軽にインターネットに接続できます。
ファストフード店や駅、空港などに設置されている「無線LANスポット」を利用すると、手軽にワイヤレスLANを使ってインターネットに接続できます。
有料であらかじめ会員登録が必要なものや、フリースポットといって無料で接続できるものもあります。
また、プロバイダによっては、有料のワイヤレスLANサービスを用意している場合もあります。お使いのプロバイダがサービスをおこなっているか、ホームページなどで確認してみましょう。

「ホットスポット」アクセスを利用する

公衆ワイヤレスLANサービスの一例として、BIGLOBEの「ホットスポット」アクセス(有料)を利用したインターネット接続の流れを紹介します。

1 **BIGLOBEに入会し、ユーザIDとパスワードを入手する**

2 **インターネットに接続し、BIGLOBEのホームページでSSIDとWEPキーを確認する**

BIGLOBEのホームページで、ユーザIDとパスワードを入力すると、パソコンの設定に必要なSSIDとWEPキーが表示されます。

3 **このパソコンのワイヤレスLANの設定、ネットワークの設定、ブラウザの設定をする**

4 **ホットスポット サービスエリア検索のホームページで、利用可能な「無線LANスポット」(サービスエリア)を確認する**

利用したい「無線LANスポット」を検索することができます。このホームページはBIGLOBEのホームページからアクセスできます。

5 **「無線LANスポット」へ行き、パソコンのワイヤレスLAN機能をオンにし、ブラウザを起動する**

チェック!!

- 設定や注意事項について詳しくは、次のホームページ(BIGLOBEのホームページ)をご覧ください。
http://mobile.biglobe.ne.jp/wifi/index3.html
- このサービスをご利用いただいた場合、BIGLOBEの月額基本料金とは別に「ホットスポット」アクセス サービス料金がかかります。詳しくは、BIGLOBEのホームページをご覧ください。

チェック!!

一部のサービスのユーザID、パスワードでは「ホットスポット」アクセスをご利用いただけない場合があります。詳しくは、BIGLOBEのホームページをご覧ください。

6 **「HOTSPOT」のログイン画面が表示されるので、次のログインIDとパスワードを入力しインターネットに接続する**

ログインID:abc12345@biglobe.ne.jp(BIGLOBEのユーザIDがabc12345の場合)

パスワード:BIGLOBEのパスワード

これでインターネット接続ができました。ログインすると、パソコンの画面にログアウト用の小さいウィンドウが表示されます。

7 **インターネット接続を終了する場合は、「ログアウトします。」の画面の「OK」をクリック**

ログアウトが完了し、「ログアウトしました。」の画面が表示されます。

ログアウトを完了しないで、「無線LANスポット」を離れたりパソコンの電源を切ると、数分後に自動的にログアウトしますが、その間にも「ホットスポット」アクセス サービス料金がかかります。

LaVie Light メニュー

ここでは、LaVie Light メニューについてご紹介します。

LaVie Light メニューには、メールをやり取りするためのソフトや音楽を聴くためのソフトなど、よく使うソフトがまとめられています。また、便利なホームページを集めた「おすすめネットサービス」も表示されます。パソコンの画面で見るマニュアル「サポートナビゲーター」も、ここから起動することができます。

LaVie Light メニューを活用して、このパソコンを使いこなしてください。

チェック!!

- 新たにインストールしたソフトなどを、LaVie Light メニューに追加したり、LaVie Light メニューから項目を削除することはできません。
- LaVie Light メニューが表示されていない場合は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「LaVie Light メニュー」-「LaVie Light メニュー」をクリックすると起動します。

メモ

LaVie Light メニューをパソコンの起動時に表示させるかどうかは、LaVie Light メニューの「設定画面」(ウィンドウ右上の (設定)をクリックして表示される画面)で設定できます。

PART

2

このパソコンのおすすめ機能

ここでは、外出時に便利な機能など、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、このPARTをご覧になり、あなたのパソコンライフに役立ててください。

モバイルパソコン活用のヒント

ここでは、外出時に便利な機能や情報について紹介しています。

外出先でインターネットする

●外出先でワイヤレス接続する

ワイヤレスLAN機能を使うことで、駅や空港、ホテル、カフェなどで提供されるワイヤレスLANサービスを利用し、ブロードバンド接続ができます。また、こういったサービスが提供されない場所でも、通信カードや携帯電話接続ケーブルを使ってインターネットにアクセスできます。

チェック!!
サービスの内容、申し込み方法、利用する場所などについては、サービスを提供する事業者によって異なります。サービスの詳しい内容については、事業者にお問い合わせください。

●「MobileOptimizer」で通信環境を切り換える

添付のソフト「MobileOptimizer(モバイルオプティマイザー)」を使うと、外出先での通信環境の切り換えがスムーズです。さらに、「ネット切替アシスタント機能」をオンにしておけば、自分で接続環境を選ぶ手間を省くこともできます。

参照
「MobileOptimizer」の起動方法について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「MobileOptimizer」または「スタート」-「すべてのプログラム」-「MobileOptimizer」-「MobileOptimizer ヘルプ」

外出先でのセキュリティ対策

外出先では、ファイアウォールやウイルス対策ソフトによる不正アクセス防止策やデータ保護策とともに、パソコン本体の置き忘れや盗難にも注意してください。
もし運悪く誰かの手に渡ってしまっても、情報を悪用されないように予防しておくことが大切です。

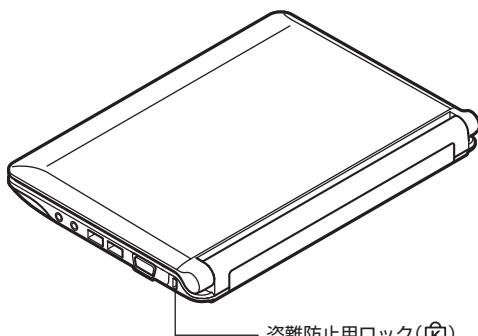
●セキュリティを万全にする

ワイヤレスLANサービスでは、不特定多数のパソコンがネットに接続されます。このパソコンに添付されている「ウイルスバスター」やセキュリティ機能を利用して、セキュリティには十分に注意してください。

●パスワードをかける

BIOSによる「パソコン起動時のパスワード」「Windowsの起動セクタを保護するための設定」や「内蔵ハードディスクやSSDにパスワードロックをかける方法」などのパスワード機能を組み合わせて使えば効果的です。

●盗難防止グッズを使う

パソコン本体の盗難防止には別売のセキュリティケーブル(PC-VP-WS15)が効果的です。また、設定した範囲からパソコンを移動しようとすると、警告音を発したり起動ロックがかかったりするような盗難防止グッズもあります。

参照

・「ウイルスバスター」の設定、使い方について→「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを使い始める」
・セキュリティについて→「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」

参照

「BIOSセットアップユーティリティ」について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「BIOSセットアップユーティリティ」

バッテリを長持ちさせるコツ

外出先でバッテリが切れてしまうのは心配のタネですが、ほんの少し気を配るだけでも意外に長持ちします。ここではバッテリを長持ちさせるコツを紹介します。

●正しい充電でバッテリ性能をキープする

充電はできるだけバッテリ残量が0%に近い状態になってから、容量が100%になるまでフル充電するのが理想です。また、充電できる電池容量は周囲の温度によって異なります。たとえば、真夏の暑い部屋では、高温により充電が中断されることもあります。

●残量が少なくなったら

ここにマウスポインタを合わせるとバッテリ残量の目安が表示されます。

・ 電源ランプがオレンジ色に点灯したら
　バッテリ残量が少なくなっています。早めに充電してください。

・ 電源ランプがオレンジ色に点滅したら
　バッテリ残量が残りわずか(自動的に休止状態に入る)です。すぐにACアダプタを取り付けてください。

●パワーモードチェンジャーを使う

「パワーモードチェンジャー」で、電源の設定を「バッテリ優先」など電力の消費を押さえる設定に切り換えると効果的です。また、ディスプレイの輝度を暗めに設定するのも効果的があります。
キーボードの【Fn】を押しながら【F4】を押すと、「パワーモードチェンジャー」のメニューが表示され、電源の設定を選ぶことができます。
また、このメニューで「電源設定の変更」をクリックすると、次の「電源設定の変更」の画面が表示され、より詳細な設定変更をすることができます。

参照

正しい充電のしかたについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「バッテリ」

チェック!!

パソコン本体がスタンバイ状態のときは、電源ランプは点滅します(バッテリ残量がない場合を除く)。

メモ

パワーモードチェンジャーの「カスタマイズ」から、ディスプレイの輝度(明るさ)も変更できます。

参照

パワーモードチェンジャーについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「パワーモードチェンジャー」

●節電設定ツールを使う

「節電設定ツール」では、LAN機能やワイヤレスLAN機能、Bluetooth機能、パワーオフUSB充電機能の有効／無効を設定できます。
使用しない機能を無効にすることで、電力の消費をおさえることができます。

「節電設定ツール」は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「節電設定ツール」-「節電設定ツール」をクリックして起動します。

参照

節電設定ツールについて→「節電設定ツール」のヘルプ

●長時間の外出や出張には

外出時の使用がメインの場合は、交換用のバッテリパックを用意することを特におすすめします。
また、バッテリ切れに備えて、ACアダプタと電源コードを忘れずに用意しておきましょう。

Bluetooth機能を使う

このパソコンのBluetooth機能を使って、Bluetoothに対応したマウスやキーボード、プリンタ、ヘッドセット、携帯電話などの機器を、手軽にワイヤレスで接続できます。

チェック!!

- Bluetooth機能をお使いになる前に、「安全にお使いいただくために」を必ずご覧ください。
- Bluetooth機能をはじめて使うときは、初期設定が必要です。

参照

Bluetooth機能およびその初期設定について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「Bluetooth機能」

参照

ワイヤレスランプについて→「ワイヤレス機能をオンにする」の手順2(p.36)

●Bluetooth機能のオン/オフを切り換えるには

キーボードを使って、Bluetooth機能のオン/オフを切り換えることができます。
【Fn】+【F2】を押すごとにオン/オフが切り換わります。このときワイヤレスLAN機能などその他のすべてのワイヤレス機能も同期してオン/オフされます。
ワイヤレス機能がオンのとき、パソコン本体のワイヤレスランプが点灯します。

また、次の操作でBluetooth機能を一時的に停止することができます。

1 **画面右下の通知領域のアイコン( )を右クリック**

2 **表示されたメニューから「Bluetoothデバイスを停止」をクリック**

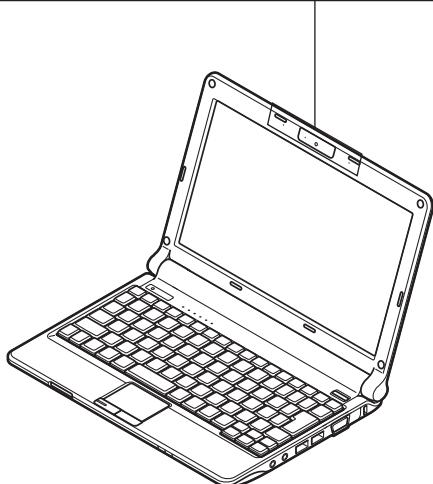
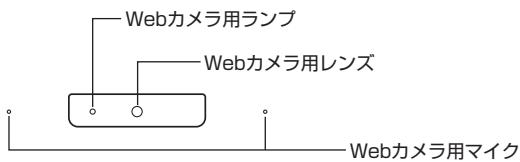
画面右下の通知領域のアイコンが赤に変わります。
もとの状態に戻すときは画面右下の通知領域のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「Bluetoothデバイスを起動」をクリックしてください。

チェック!!

- Bluetooth機能のオン/オフ時には機器に負担をかけるので、連続してオン/オフを繰り返さないでください。
- ほかの機器に影響をあたえる場合や、Bluetooth機能を使用しないとき、Bluetooth機能が使用できない環境でこのパソコンを使用するときには、必ずBluetooth機能をオフにしてください。

Webカメラを使う

このパソコンのディスプレイ上部には、Webカメラが搭載されています。Windows Live Messengerを利用してテレビ電話(ビデオチャット)ができます。

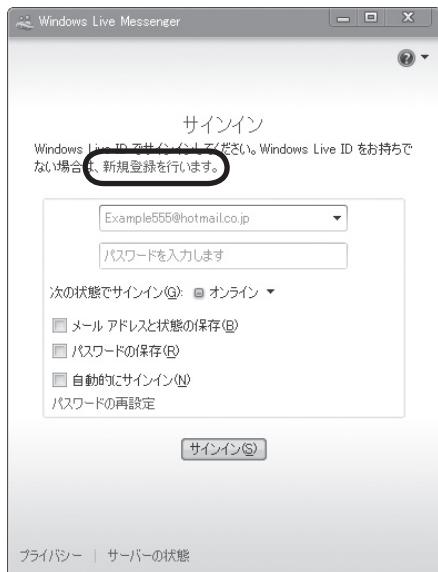
Webカメラは、ディスプレイ上部中央に搭載されており、レンズ、マイク、およびランプで構成されています。レンズで対象を撮影し、マイクで音声を収集します。ランプはWebカメラを使用しているときに点灯します。

チェック!!

ご購入時には、Webカメラのレンズ部に破損防止のための保護用シールが貼られています。Webカメラをご使用になる前に取り外してください。

テレビ電話(ビデオチャット)をする

●テレビ電話の準備をする

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Live」-「Windows Live Messenger」をクリック

2 サインイン画面の「新規登録を行います。」をクリックして、IDを登録する

3 メールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」をクリック

次回からは、取得したメールアドレスとパスワードを入力すると、すぐに始めることができます。

テレビ電話を開始する場合は、次の「●テレビ電話を始める」の手順3に進んでください。

●テレビ電話を始める

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Live」-「Windows Live Messenger」をクリック

2 メールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」をクリック

3 画面右上の をクリックし、表示されたメニューから「メニューバーを表示します」をクリック

チェック!!

- テレビ電話を利用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。あらかじめインターネットの設定を完了させておいてください。なお、送受信するデータが大きくなるため、FTTHやADSLなどのブロードバンド接続をおすすめします。
- テレビ電話は、相手側にもWebカメラやマイクロフォンなどの周辺機器が必要になります。
- YouCam for NECを使用すると、テレビ電話中に、ゆがみ、フレーム、フィルタ効果などのエフェクトをかけることができます。
  なお、YouCam for NECを使用しているとテレビ電話フレームレート(コマ数)が低下する場合があります。
  YouCam for NECを使ったテレビ電話の方法については、このPARTの「YouCam for NECを使用する」(p.67)をご覧ください。

参照

YouCam for NECについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「YouCam for NEC」

チェック!!

IDの登録は無料です。

メモ

- 「メールアドレスと状態の保存」や「パスワードの保存」の左の□をクリックして☑にしておくと、次回から入力の手間を省くことができます。ただし、これらのチェックを入れた場合は、セキュリティをしっかり設定してください。
- メールアドレスとパスワードについて詳しくは、Windows Live Messengerのヘルプをご覧ください。

メモ

メールアドレスやパスワードを保存している場合は、「サインイン」をクリックしてください。

4 **「操作」-「映像通話」-「映像通話の開始」をクリック**

通話可能なメンバーが表示されます。

5 **通話するメンバーを選択し、「OK」をクリック**

これ以降の操作は、画面に表示される説明を読みながら操作を進めてください。
また、詳しい操作方法については、Windows Live Messengerのヘルプをご覧ください。

●音声が聞き取りにくいときは

「Windows Live Messenger」でテレビ電話を使用しているとき、ノイズやエコーが入ったり音声が聞き取りにくい場合は、次の方法でクリアな音質での通話ができるようになります。

・ 音量調節をおこなう
音量が大きすぎるとノイズやエコーなどが発生しやすくなります。通話が可能な範囲で音量を少しずつ下げてください。

・ ヘッドフォン(イヤフォン)やヘッドセットを使用する
ヘッドセットを使用する場合は、次の手順でマイクの設定を変更してください。

1 **あらかじめヘッドフォン(イヤフォン)やヘッドセットを取り付けてから、「Windows Live Messenger」を起動する**

2 **メニューバーを表示し、「ツール」-「オーディオとビデオのセットアップ」をクリック**

「オーディオとビデオの設定-スピーカー /マイクまたはスピーカーフォン」画面が表示されます。

3 **「スピーカー /マイクまたはスピーカーフォン」のプルダウンメニューで「ユーザー設定」を選択する**

4 **使用するスピーカーとマイクをそれぞれ選択し、音量のテストをおこなって適切な値に調整する**

5 **「完了」をクリックする**

これで、設定は完了です。

メモ

・ 通話相手がWindows Live Messengerを使っている場合は、その人のWindows Live IDを登録することでメンバーに追加できます。そうでない人も、招待メールで参加を呼びかけることができます。
・ パソコンをスタンバイ状態にするときは、その前に「Windows Live Messenger」を終了してください。

チェック!!

【Fn】を押しながら【F10】を押すと音が小さくなり、【Fn】を押しながら【F11】を押すと音が大きくなります。

チェック!!

・ ヘッドフォン/オーディオ出力端子にヘッドフォン(イヤフォン)やヘッドセットなどを接続すると「Realtek HDオーディオマネージャ」の「デバイスタイプ」の画面が表示されるので、「ヘッドフォン」を選択して「OK」をクリックしてください。
・ Windows Live Messengerを終了するまでヘッドセットを取り外さないでください。終了前にヘッドセットを取り外した場合は、Windows Live Messengerを再起動してください。

●YouCam for NECを使用する

YouCam for NECを使用すると、テレビ電話中に、ゆがみ、フレーム、フィルタ効果などのエフェクトをかけることができます。

1 「Windows Live Messenger」を起動する

2 画面右上の をクリックし、表示されたメニューから「ツール」-「オーディオとビデオのセットアップ」をクリック

「オーディオとビデオの設定-スピーカー /マイクまたはスピーカーフォン」画面が表示されます。

3 「次へ」をクリック

「オーディオとビデオの設定-Webカメラ」画面が表示されます。

4 「Webカメラ」のプルダウンメニューで「CyberLink Web Camera Filter」を選択する

5 「完了」をクリック

●マイクの設定をする

初めてYouCam for NECを利用するときは、次の手順でマイクをオンにしてください。

1 画面右下の通知領域にある を右クリックし、「サウンドマネージャー」をクリック

2 「ミキサー」タブをクリック

3 画面下段にある「録音」の「マイク ボリューム」の下にある をクリックして にする

4 「OK」をクリック

チェック!!

YouCam for NECを使用していると、テレビ電話フレームレート(コマ数)が低下する場合があります。

PART

3

再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、このPARTの説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解して、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、意識しないうちにパソコンのシステムが壊れたり、設定が変更されてしまった可能性があります。再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。
しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。大切なデータは、再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のことを試してみてください。問題が解決することがあります。

●ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。インターネットやメールを経由してパソコンに入り込んだり、ウイルスに感染したディスクからパソコンに感染してしまうこともあります。
知らないうちに保存したデータが消えていたり、意味不明な文字や絵が突然画面に表示されたりしたときは、次のようにしてウイルスをチェックしてください。
ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にあるを右クリックし、「検索開始」をクリック

アイコンが表示されていないときは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター 2009」-「ウイルスバスター 2009を起動」をクリックしてください。「ウイルスバスター」のメイン画面が表示されたら「検索開始」をクリックしてください。

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

チェック!!

ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、ユーザー登録をおこなった日から90 日間、無料で最新のウイルススキャンやウイルスパターンファイルにアップデートをおこなうことができます。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ウイルスバスター」をご覧ください。

●セーフモードでパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す

4 「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフ モード」を選び、【Enter】を押す

「オペレーティング システムの選択」が表示されたときは、「Microsoft Windows XP Home Edition」を選んで、【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

5 ユーザー選択の画面が表示されたら、自分のユーザーアカウントを選んでログオンする

これで、パソコンはセーフモードで起動しました。

> この方法でトラブルが解決しなかった場合は、次の「データのバックアップを取る」(p.72)で大切なデータをバックアップした後で、「システムの復元を試みる」(p.72)へ進んでください。

メモ

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windowsの起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードならば起動できることがあります。
セーフモードについて、詳しくは「スタート」-「ヘルプとサポート」-「問題を解決する」-「問題のトラブルシューティング」-「Windowsをセーフモードで起動する」をご覧ください。

チェック!!

- セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。
- 手順3で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。
- 手順4で「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。
- セーフモードで起動した後、「スタート」-「終了オプション」-「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

●データのバックアップを取る

パソコンでトラブルが起きたとき、Windowsそのものやこのパソコンに添付のソフトは、システムの修復や再セットアップで復元する(正常な状態に戻す)ことができますが、自分で作成した文書や、住所録、電子メール、インターネットの設定などはもとには戻せません。大切なデータを失わないためには、これらの方法をおこなう前にDドライブ、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに、必ずデータのバックアップを取ってください。

●システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」などに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック

2 「システムの復元」の画面が表示されたら、「コンピュータを以前の状態に復元する」が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリック

3 カレンダーから復元したい日付をクリック

太字で表示された日付から、トラブルが起きるようになる前の日付を選んでください。

4 選択した日付の「復元ポイント」が複数表示されているときは、どれかをクリックして選択し、「次へ」をクリック

メモ

Dドライブは、ハードディスクの中にありますが、システムの修復やCドライブのみ再セットアップをおこなうときには影響を受けないので、一時的なバックアップ先には適しています。

チェック!!

- Cドライブの領域を変更して再セットアップ(LaVie Light BL350/Tを除く)、ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップする場合は、再セットアップ後にDドライブのデータも消えてしまいます。別途DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどへデータのバックアップを取っておいてください。
- ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。なお、外付けDVD/CDドライブでのデータの保存に、DVD-RAMはご利用いただけません。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

チェック!!

- システムの修復をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。
- システムの修復をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.71)でセーフモードで起動した後、システムの復元をおこなってみてください。

チェック!!

セーフモードで起動したときは、復元ポイントの作成はできません。

5 「復元ポイントの選択の確認」が表示されたら、内容を確認して「次へ」をクリック

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

6 「復元は完了しました」と表示されたら、「OK」をクリック

これで、システムの復元は完了です。

●「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモードでもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できないときでも、次の操作で起動できることがあります。

1 パソコン本体の電源を入れる

2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す

3 「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(正しく動作した最新の設定)」を選び、【Enter】を押す

「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 「オペレーティング システムの選択」と表示されたら、そのまま【Enter】を押す

これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

手順2で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。

再セットアップする(Cドライブのみ)

このパソコン内にあるCドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

ハードディスクやSSDに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクやSSDの領域の変更はしません。

●こんなことができます

・Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます
Dドライブのデータは保護されます

●こんなかたにおすすめ

・再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめ
・まだパソコンに慣れていないかた、ハードディスクやSSDのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の14項目の作業を連続しておこないます。項目によっては(　)内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットやLANの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ
6. 別売の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す
7. システムを再セットアップする(約1時間)
8. Windowsの設定をする(約30分)
9. Office Personal 2007を再セットアップする
10. 別売の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす
11. インターネット接続の設定などをやりなおす
12. 別売のソフトをインストールしなおす
13. バックアップを取ったデータを復元する
14. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

チェック!!

・ハードディスクやSSDの状態をご購入時から変更(ダイナミックディスクなど)した場合、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。
・この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります。
・再セットアップは中断しないでください。
・ハードディスクやSSDの状態をご購入時から変更(パーティションの追加・削除など)した場合、Cドライブのみの再セットアップができないことがあります。その場合は、ハードディスクやSSDを購入時の状態に戻して再セットアップをおこなってください。

> 再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。再セットアップすると、Cドライブに保存してあるデータはすべて失われます。

参照

バックアップについて→「データのバックアップを取る」(p.72)

1. 必要なものを準備する

このパソコンの添付品から、次のものを準備してください。

- 「Microsoft® Office Personal 2007」CD-ROMとプロダクトキー（Office 2007モデルのみ）
- 『ユーザーズマニュアル』（このマニュアル）

また、このパソコンのご購入後にお客様ご自身でインストールしたソフトを使うときは、そのソフトのインストールが必要です。使用するソフトに添付のマニュアルをご覧になり、インストールに必要なものを準備してください。

2. バックアップを取ったデータを確認する

「データのバックアップを取る」(p.72)でバックアップを取ったデータの内容を、もう一度確認してください。万一、バックアップに失敗しているものがあったり、バックアップを取り忘れていたデータが見つかったときは、バックアップを取りなおしてください。

3. インターネットやLANの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

- ユーザー ID
- パスワード
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリDNS
- セカンダリDNS
- メールサーバ
- ニュースサーバ

チェック!!

再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、後で設定しなおしてください。

チェック!!

受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップをおこなうと消えてしまいます。必要な場合は、メールやURLファイルのバックアップを取っておいてください。

4. ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー1」の欄に控えておきます。

	ユーザー名
ユーザー 1(1人目)	
ユーザー 2(2人目)	
ユーザー 3(3人目)	
ユーザー 4(4人目)	

5. BIOSの設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、BIOSの設定を初期値(デフォルト値)に戻してください。なお、初期値に戻す前に、現在の設定内容をメモに取るなどして控えておくことをおすすめします。

6. 別売の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレススイッチをオフにしてください。

7. システムを再セットアップする

次の操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F11】を何度か押す

チェック!!

家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合は、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。

チェック!!

ユーザー名を控えるときには、次の点に注意してください。

- 大文字と小文字の区別に注意
- 全角と半角の区別に注意
- 入力ミスに注意(数字の「1」とアルファベットの「l」(エル)など)

チェック!!

BIOSの設定を初期値に戻すには、PART4の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.105)をご覧になり、手順2からおこなってください。

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

チェック!!

手順3で「NEC」のロゴが表示されず【F11】が押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F11】を何度か押してください。

4 「再セットアップツール」の画面が表示されたら、「開始」をクリック

5 「再セットアップとは」の画面が表示されたら「次へ」をクリック

6 「準備するもの」の画面が表示されたら、必要なものがそろっているか確認し、「次へ」をクリック

7 「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら「次へ」をクリック

8 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、「Cドライブのみ再セットアップ」を選び「次へ」をクリック

9 「Cドライブのみ再セットアップ」の画面が表示されたら、「実行」をクリック

再セットアップが始まります。再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、電源スイッチなどに触れないでください。

10 「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック

パソコンが再起動されたら、次の「8. Windowsの設定をする」に進んでください。

8. Windowsの設定をする

次の手順で操作してください。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されていることを確認する

2 「次へ」をクリック

3 「使用許諾契約」が表示されたら、「同意します」をクリックして◯を◉にして、「次へ」をクリック

4 「コンピュータを保護してください」が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックして◯を◉にして、「次へ」をクリック

5 「コンピュータに名前を付けてください」が表示されたら、そのまま、「次へ」をクリック

「NECPC」など好みの名前を入力してもかまいません。また、再セットアップする前に付けていた名前と異なるものを入力してもかまいません。

チェック!!
手順4で「再セットアップツール」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやり直してください。

チェック!!
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードやパソコン本体の電源スイッチに触れないでください。再セットアップの進行中に数回「ピー」と音がすることがありますが、これは再セットアップ処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。

チェック!!
処理が終了したことを示す画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。手順1から操作をやりなおしてください。

6 「インターネットに接続する方法を指定してください」または「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたら、そのまま「省略」をクリック

7 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして◯を◉にして、「次へ」をクリック

8 「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」と表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして◯を◉にして、「次へ」をクリック

9 「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」と表示されたら、あらかじめ控えておいたユーザー名を正確に入力して、「次へ」をクリック

10 「設定が完了しました」と表示されたら、「完了」をクリック

しばらくすると、「パソコンの診断が終了しました。」と表示されます。

11 ➡をクリック

12 「121ポップリンクの設定」が表示されたら、「利用する」が◉になっていることを確認し、➡をクリック

13 「LaVie Light メニューの設定」が表示されたら➡をクリック

パソコンを起動したときに「LaVie Light メニュー」を表示させたい場合は、「自動起動を有効にする」の☐をクリックして☑にしてください。

14 「インターネット エクスプローラのホームページを設定します。」と表示されたら、BIGLOBEホームページかYahoo! JAPANホームページのいずれかを選んで ◉ にし、➡をクリック

15 「設定が完了しました。」と表示されたら、➡をクリック

16 「保護者の方へ」画面が表示されたら、表示された内容を確認し、➡をクリック

パソコンが再起動します。再起動後、「システムの復元ポイントの設定」の画面が表示されます。しばらくすると、もう一度再起動します。

これでWindowsの設定は終了です。

チェック!!

ここで、「アップデートを行います。」という画面が表示された場合は、画面の表示にしたがい「再セットアップ用DVD/CD-ROM(2枚目)」をセットし、「次へ」をクリックしてください。

メモ

121ポップリンクは、お使いの機種に適した最新情報をNECからインターネット経由でお届けするサービスです。

チェック!!

- 「LaVie Light メニュー」の自動起動は、セットアップ完了後にも「LaVie Light メニュー」で設定できます。
- 「LaVie Light メニュー」について詳しくは、PART1の「LaVie Light メニュー」(p.57)をご覧ください。

チェック!!

ホームページの設定は、セットアップ完了後に変更できます。変更方法について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「使いやすい設定に変更する」-「Internet Explorerを使いやすくする」をご覧ください。

9. Office Personal 2007を再セットアップする

(Office 2007モデルのみ)

Office Personal 2007のインストール

1 **Office Personal 2007のインストールCD-ROMをセットする**

「Microsoft Office Personal 2007」の画面が表示されます。

2 **プロダクトキーを入力して、「次へ」をクリック**

「プロダクトキー」は、CD-ROMケースの裏面に貼ってあるシールに記載されています。

3 **「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みください」のライセンス条項にご同意いただければ、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」にチェックを付け、「次へ」をクリック**

4 **「今すぐインストール」をクリック**

インストールが始まります。

5 **正常にインストールされた旨のメッセージが表示されたら「閉じる」をクリック**

インストールCD-ROMをDVD/CDドライブから取り出してください。

Office 2007 Service Pack 1のインストール

Office Personal 2007のインストールが完了したら、次の手順でOffice 2007 Service Pack 1をインストールします。

1 **「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリック**

「ファイル名を指定して実行」が表示されます。

2 **「名前」欄に次のように入力して、「OK」をクリック**
C: ¥APSETUP ¥012SP1 ¥Office2007SP1-kb936982-fullfile-ja-jp.exe

「2007 Microsoft Office Suite Service Pack 1 (SP1)」が表示されます。

3 **「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」のライセンス条項にご同意いただければ、チェックを付けて、「次へ」をクリック**

4 **「このパッケージのインストールを完了するため今すぐ再起動しますか?」と表示されたら「はい」をクリックしてパソコンを再起動する**

これでインストールは終了です。

チェック!!
Office 2007の再セットアップには、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。あらかじめ、パソコン本体に外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)を取り付けておいてください。

チェック!!
インストールが終了したら、必ずMicrosoft Updateを実行し、最新の状態にしてください。Microsoft Updateについて詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「Windowsを更新する」をご覧ください。

IME 2007修正プログラムのインストール

続いて、IME 2007修正プログラムをインストールします。

1 **「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリック**

「ファイル名を指定して実行」が表示されます。

2 **「名前」欄に次のように入力して、「OK」をクリック**

C: ¥APSETUP ¥012SP1 ¥office-kb956793-fullfile-x86-ja-jp.exe

「Office(KB956793)の修正プログラム」ダイアログが表示されます。

3 **「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」のライセンス条項にご同意いただければ、チェックを付けて「次へ」をクリック**

4 **「このパッケージのインストールを完了するため今すぐ再起動しますか？」と表示されたら「はい」をクリックしてパソコンを再起動する**

これでインストールは終了です。

再セットアップ後、Office Personal 2007を最初に使用するとき

Outlook 2007やWord 2007などのソフトを最初に使用するときは、ライセンス認証に関する画面が表示されます。表示された内容をよく読んで、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

10. 別売の周辺機器（プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす

1 **パソコンの電源を切る**

2 **取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう**

チェック!!

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、ご利用の周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

11. インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ（入会申し込み）をやりなおす必要はありません。

12. 別売のソフトをインストールしなおす

パソコンに別売のソフトをインストールしていた場合は、それぞれのソフトに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

13. バックアップを取ったデータを復元する

「データのバックアップを取る」(p.72)でバックアップしたデータを復元してください。

14. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows アップデートやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

このパソコン内にあるCドライブとDドライブの領域を変更してから、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

初心者のかたや、ハードディスクの知識があまりないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.74)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを10Gバイトから1Gバイト単位で変更できます。

LaVie Light BL350/Tの場合:
Cドライブの領域サイズは、最大でもSSD全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズとなります。
Cドライブに保存されていたデータはすべて失われます。

上記以外のモデルの場合:
Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズとなります。
Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

●こんなことができます

・Cドライブのサイズを変更する

●こんなかたにおすすめ

・パソコンやハードディスクやSSDの知識を十分にお持ちのかた
・ハードディスクやSSDの領域を変更したいかた

再セットアップ手順

1 このPARTの「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.74)をご覧になり、「1.必要なものを準備する」～「7.システムを再セットアップする」の手順1 ～ 7までの作業をおこなう

2 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック

3 「次へ」をクリック

4 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

チェック!!

・この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブにあるデータが失われます。また、LaVie Light BL350/T以外のモデルでは、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
・ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。
・再セットアップ用DVD/CD-ROMを使ってこの方法で再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
・ハードディスクやSSDの状態をご購入時から変更(パーティションの追加・削除など)した場合、Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップできないことがあります。その場合は、ハードディスクやSSDを購入時の状態に戻して再セットアップをおこなってください。

チェック!!

LaVie Light BL350/T以外のモデルでは、Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。

5 **「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.77)以降の説明を参考にしてください。

チェック!!

- 再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。
- LaVie Light BL350/Tの場合、この方法で作成できるCドライブの領域の上限は10GBです(最小と最大が同じ10GBと表示されていますが、故障ではありません)。
  さらにCドライブの領域を広げたい場合は、再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成し、それを使ってCドライブの領域を変更してください。
  また、内蔵のハードディスクをCドライブとして利用することはできません。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する

再セットアップ用DVD/CD-ROMの作成手順を説明します。

再セットアップ用DVD/CD-ROMとは

再セットアップ用DVD/CD-ROMの作成には、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。

このパソコンは、ハードディスクやSSDに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)を使って、再セットアップをおこなうしくみになっています。
この再セットアップ領域のデータをディスクに保存したものが「再セットアップ用DVD/CD-ROM」です。
このディスクを使ってパソコンを再セットアップすることができます。
また、パソコンを購入時の状態に戻したり、パソコン内のデータを消去することもできます。

チェック!!
通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.74)をご覧になり、この方法で再セットアップしてください。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成します。

未使用のディスクを準備する

必要なディスクの枚数は、次ページの手順3の画面で確認してください。
作成には、CD1 枚につき最大約30分、DVD1枚につき最大約100分かかります。

- 必ず次の容量のディスクを用意してください。
  CD-R ディスクの場合:700M バイトまたは650M バイトのもの
  DVD-R/+R ディスクの場合:4.7G バイトのもの
  DVD+R(2 層)ディスクの場合:8.5G バイトのもの
- DVD-R/+R ディスク、またはDVD+R(2層)ディスクを使用する場合、1枚目以外は同じ種類のディスクを用意してください。

チェック!!
- 再セットアップ用DVD/CD-ROMは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。
- 手動で再セットアップ領域のデータを削除した場合などは、再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成できません。

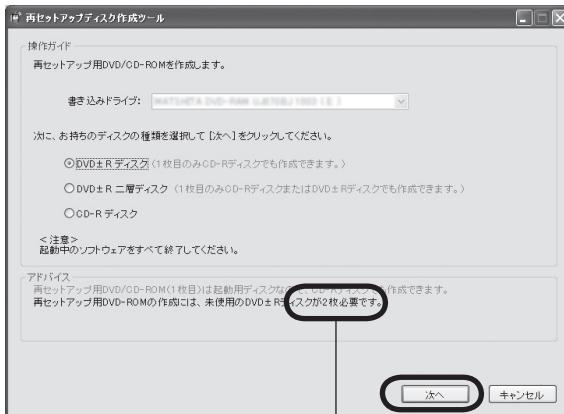
チェック!!
データ書き込みには「Roxio Creator LJ」というソフトが必要です。このパソコンにあらかじめインストールされていますが、削除してしまっているときは、追加しておいてください。ソフトを追加する方法については、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフトの追加と削除」をご覧ください。

・ 次のディスクは使用できません。
CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM

作成の手順

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック

2 次の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

3 次の画面が表示されたら、ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

チェック!!

ほかのソフトが起動していると、ディスクへの書き込み中にエラーが発生することがあります。起動中のソフトや常駐プログラム(ウイルス対策ソフトなど)はすべて終了してください。また、スクリーンセーバーが起動しないように設定してください。

チェック!!

・ DVD-R/+Rディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-Rディスクで作成できます。
・ DVD+R(2 層)ディスクを選んだ場合でも、1 枚目はCD-R ディスクまたはDVD-R/+R ディスクで作成できます。

4 **次の画面が表示されたら、「次へ」をクリック**

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で、作成開始ディスク:の をクリックすると、途中から作成するように指定することもできます。

5 **用意したディスクをセットする**

アクセスランプが消えるまで待ってください。

6 **「作成開始」をクリック**

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

7 **「OK」をクリック**

8 **ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるようにラベル面に記入する**

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

作成した再セットアップ用DVD/CD-ROMは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

チェック!!

- 「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。
- 書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使って再セットアップする

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使ってできることを説明します。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使って再セットアップするには、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。

●こんなことができます

- Cドライブのみの再セットアップ
  「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.74)と同じ内容の再セットアップです。
- Cドライブの領域を変更して再セットアップ
  「Cドライブの領域を変更して再セットアップする」(p.82)と同じ内容の再セットアップです。
- パソコンを購入時の状態に戻す
  詳しくは「ハードディスクやSSDをご購入時の状態に戻して再セットアップする」(p.89)をご覧ください。
- パソコンのハードディスクやSSDのデータを消去
  詳しくは「パソコン内のデータを消去する」(p.90)をご覧ください。

●こんなかたにおすすめ

- パソコンやハードディスクやSSDの知識を十分にお持ちのかた
- パソコンを購入時の状態に戻したいかた
- Cドライブの領域を最大にして利用したいかた

チェック!!
- このパソコンには、ハードディスクやSSDに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)があります。
  NEC Recovery Systemがハードディスクや SSD内にある場合、ハードディスクやSSDからパソコンの再セットアップがおこなえます。
- 再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った場合、NEC Recovery Systemは次のように変更されます。
  Cドライブのみ再セットアップした場合:再セットアップ前にNEC Recovery Systemがハードディスクや SSD内にある場合は、NEC Recovery Systemは残ります。
  Cドライブの領域を変更して再セットアップした場合:NEC Recovery Systemは削除されます。
  パソコンを購入時の状態に戻した場合:NEC Recovery Systemは再作成されます(再セットアップ前にNEC Recovery Systemがない状態でも、再作成されます)。
  パソコン内のデータを消去した場合:NEC Recovery Systemは削除されます。
- NEC Recovery Systemがハードディスクや SSD内にない場合、再セットアップをするには、再セットアップ用DVD/CD-ROMを使う必要があります。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った再セットアップ手順

次の手順を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

1 作成した再セットアップ用DVD/CD-ROMを用意する

2 このPARTの「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.74)をご覧になり、「1. 必要なものを準備する」から「6. 別売の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す」までの作業をおこなう

チェック!!
再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

3 パソコン本体に外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)を取り付ける

4 パソコンの電源スイッチを押し、電源を入れる

5 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップ用DVD/CD-ROM(1枚目)をセットする

6 「再セットアップツール」の画面が表示されたら、「開始」をクリック

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップ用DVD/CD-ROMを順番にセットしてください。

7 「再セットアップとは」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

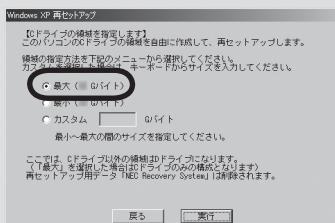
8 「準備するもの」の画面が表示されたら、必要なものがそろっているか確認し、「次へ」をクリック

9 「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

10 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、再セットアップの種類を選び、「次へ」をクリック

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.77)以降の説明を参考にしてください。

Cドライブの領域を最大にするには

手順10で「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を選び、領域の設定画面で「最大」を選んで再セットアップすると、Cドライブの領域を最大にすることができます。

※:LaVie Light BL350/Tの場合、作成できるCドライブの最大領域は16GBです。内蔵のハードディスクをCドライブとして利用することはできません。

チェック!!

手順6で「再セットアップツール」の画面が表示されず、通常のWindowsデスクトップが表示されてしまったときは、再セットアップ用DVD/CD-ROMをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

チェック!!

- 再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードやパソコン本体の電源スイッチに触れないでください。
- ハードディスクやSSDのフォーマットまたは再セットアップがおこなわれている間は、画面に指示が表示されないかぎり、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。

チェック!!

- 再セットアップ用DVD/CD-ROMを使用してCドライブの領域を最大にした場合、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。そのため、以降、再セットアップをする場合は再セットアップ用DVD/CD-ROMが必要になります。
- LaVie Light BL350/T以外のモデルでは、Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。

ハードディスクやSSDをご購入時の状態に戻して再セットアップする

このパソコンのハードディスクやSSDをすべてご購入時の状態に戻します。

> 初心者のかたや、ハードディスクやSSDの知識があまりないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.74)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブおよびドライブをすべてご購入時の状態に戻します。
Dドライブなどを含め、ハードディスクやSSDに保存されていたデータはすべて失われます。

●こんなことができます

・ハードディスクやSSDをすべてご購入時の状態に戻す

●こんなかたにおすすめ

・Cドライブの領域を変更して再セットアップした後で、元の状態に戻したいかた

再セットアップ手順

1 **このPARTの「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った再セットアップ手順」(p.87)の手順1 ～ 9までの操作をおこなう**

2 **「ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップ」をクリック**

3 **「次へ」をクリック**

4 **「ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップ」の画面が表示されたら、「実行」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.77)以降の説明を参考にしてください。

> 再セットアップ中に、再セットアップ用DVD/CD-ROMの入れ替えや再起動などの指示が画面に表示されます。内容をよく確認して作業を進めてください。
>
> 再セットアップ用DVD/CD-ROMを取り出して再起動した後、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されたら、「8.Windowsの設定をする」(p.77)へ進んでください。

チェック!!

・ この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
・ ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。

パソコン内のデータを消去する

このパソコンのハードディスクやSSDにあるデータを復元されにくい形で消去します。

このパソコンのハードディスクやSSDのデータ消去をおこないます。ハードディスクやSSDに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows XP標準のハードディスクやSSDのフォーマット機能では消去できないハードディスクやSSDのデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄するときにご利用ください。
なお、ハードディスクやSSDのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

・かんたんモード(1回消去)
ハードディスクやSSD全体を「00」のデータで1 回上書きします。復元ソフトによるデータの復元ができなくなります。

・しっかりモード(3回消去)
米国国防総省NSA準拠方式により、ハードディスクやSSDのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全に消去できます。
ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

・しっかりモードプラス(3回消去+検証)
米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクやSSDのデータ消去をおこないます。
「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。
3回消去をおこなうことにより、より完全に消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

・この操作をおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、必要に応じてDVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
・ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

この方法でのハードディスクやSSDのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。

ハードディスクやSSDのデータ消去手順

1 このPARTの「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った再セットアップ手順」(p.87)の手順1 ～ 9までの操作をおこなう

2 「ハードディスクのデータ消去」をクリック

3 「次へ」をクリック

4 「ハードディスクのデータ消去」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

5 画面の説明を読んで、問題がなければ「実行」をクリック
以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

チェック!!

ハードディスクやSSDのデータ消去を始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。

PART

4

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、このPARTで説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。
パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードやACアダプタをコンセントから抜いて、NECにご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。
パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇このPART「トラブル解決 Q&A」
◇このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」
◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル
◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

http://121ware.com/support/をご覧ください。

◇マイクロソフトサポート技術情報

Windowsに関するトラブル情報が検索できます。
http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JAをご覧ください。

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

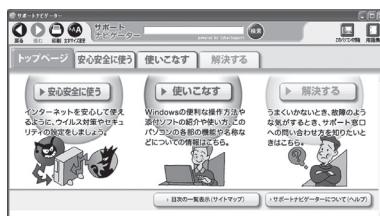
どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECのサポート窓口「121コンタクトセンター」については、添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。

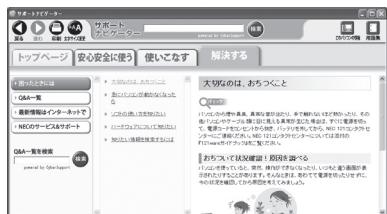
「サポートナビゲーター」でトラブル解決

パソコンのトラブルを解決するのに役立つのは、このマニュアルだけではありません。このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」を活用してください。

「サポートナビゲーター」の使い方

●起動方法

「スタート」-「サポートナビゲーター(電子マニュアル)」をクリック

次に「サポートナビゲーター」の「解決する」をクリック

●使い方

画面左の「困ったときには」を選択し、起きているトラブルをクリック。画面を見ながら解決方法を確認していきます。

このパソコンの機能や機器の増設情報も

「サポートナビゲーター」は、トラブル解決だけでなく、このパソコンのソフトや機能についての情報も数多く掲載しています。
特に「使いこなす」-「パソコン各部の説明」では、省電力機能/表示機能/サウンド機能などの機能や、各種コネクタ類の説明など機器増設の際に必要な情報を紹介しています。

パソコンの様子がおかしい

パソコンが異常に熱を持ったとき、変なにおいがしたときなど、様子がおかしいと思ったらここをご覧ください。いきなり電源コードを抜いたりせず、落ち着いて対処しましょう。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手で触れないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源コードをコンセントから抜き、バッテリを外して、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。
電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

参照
NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

ピーッというエラー音がした

もしフロッピーディスクドライブを接続している場合は、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。セットされているフロッピーディスクの種類によっては、ピーッというエラー音がすることがあります。
または、ハードディスクやSSDの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NEC 121コンタクトセンターへお問い合わせください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、なにも作業をしていないときに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題はありません。
ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを実行してください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

メモ
データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

チェック!!
LaVie Light BL350/TのSSDには、デフラグをおこなわないでください。

参照
- ディスクデフラグ、ディスククリーンアップについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ディスク デフラグ」、「ディスク クリーンアップ」
- NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
あまりにも異常な音がするときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

急に動かなくなった、フリーズした

ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはストール、ハングアップといいます)。このような場合は、次の操作をおこなってください。

異常が起きているソフトを終了させる

ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Del】を押す

「Windows タスクマネージャ」の画面が表示される

2 「アプリケーションの「タブ」をクリック

3 右側に「応答なし」と表示されているソフト(アプリケーション)をクリックして、「タスクの終了」をクリック

この方法でソフトが終了できなかったり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作をおこなってください。

チェック!!

動作が止まっているように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。あわてる前に、画面の表示状態やハードディスクアクセスランプが点灯していないかなどをよく確認しましょう。

メモ

画面が突然真っ暗になったときには、パソコンが省電力状態になったことが考えられます。省電力状態から復帰するには、電源スイッチを押します。詳しくは「ディスプレイに何も表示されない」(p.101)をご覧ください。

チェック!!

- 「Windows タスクマネージャ」の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
- ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

強制的に電源を切る

1 **パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける**

通常、4秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れます。

2 **5秒以上待ってから、電源スイッチを押す**

パソコンの電源が入り、場合によっては、「ディスクのチェック」が自動的に始まり、ハードディスクやSSDがチェックされます。
「ディスクのチェック」で異常が発見されなかったときや、「ディスクのチェック」が実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。

3 **「スタート」をクリックし、「終了オプション」をクリック**

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

4 **「電源を切る」をクリック**

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう1度4秒以上パソコンの電源スイッチを押し続けてください。

それでも症状が改善しない場合は、NEC121コンタクトセンターにご相談ください。NEC121コンタクトセンターについては添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。

チェック!!

- 頻繁に強制終了をおこなうとハードディスクやSSDが故障することがあります。
- 強制終了をおこなうと直後の再起動時に「ディスクのチェック」が自動的に起動することがあります。

チェック!!

- 「ディスクのチェック」の結果、何かメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。うまく起動できなかった場合は、「PART3 再セットアップ」(p.69)をご覧になり、システムの修復または再セットアップをおこなってください。

キーボード、NXパッド

キーボードやNXパッドが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

キーボードのキーを押しても、NXパッドに触れても反応しない、反応が悪い

マウスポインタが⌛の形に変わっていませんか?

マウスポインタ⌛の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、キーボードやNXパッドの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っていてください。

しばらく待ってもキーボードやNXパッドの操作ができないとき

ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.95)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やハードディスクアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

NXパッドが反応しない、または反応が鈍い

☹➡☺ 指先やNXパッドが汚れていませんか？

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

☹➡☺ NXパッドの二か所以上に同時に触れていませんか？

NXパッドの二か所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。一か所だけに触れるようにしてください。

☹➡☺ NXパッドの感度の設定が低くなっていませんか？

NXパッドは、誤動作を防止するため、感度を調整することができます。ただし、この感度が低すぎると、NXパッドの反応が鈍くなります。
次の手順で設定を変更してください。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「マウス」をクリック**
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 **「デバイス設定」タブの「設定」をクリック**
デバイスの設定画面が表示されます。

3 **「アイテムの選択」で「感度」をダブルクリック**
「感度」に含まれる項目が表示されます。

4 **「PalmCheck(パームチェック)」または「タッチ感度」をクリックし、設定を変更する**
設定内容については、画面の説明をご覧ください。

5 **「OK」をクリック**
「マウスのプロパティ」に戻ります。

6 **「OK」をクリック**

これで、NXパッドの感度の設定が変更されました。

キーボードに飲み物をこぼしてしまった

そのまま使い続けると、キーボードの故障の原因になることがあります。NEC121 コンタクトセンターにお問い合わせください。

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になります。

参照

・ キーボードのお手入れ→付録の「パソコンのお手入れ」(p.114)
・ NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

電源のトラブル

電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したときは、こちらをご覧ください。

電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体に電荷が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

1 電源コードをコンセントから抜き、バッテリを外す
バッテリの外し方については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

2 そのまましばらく放置した後、バッテリを取り付け、電源コードを正しく接続しなおす

3 パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

チェック!!
放電を確実におこなうため、電源コードはしばらくコンセントから抜いたままにしておいてください。

参照
NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

正しい電源の切り方

1 デスクトップの「スタート」をクリックし、「終了オプション」をクリック

2 「電源を切る」をクリック
しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、ソフトに異常が起きていると考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.95)をご覧になり、異常が起きているソフトを終了してください。それでも電源が切れないときは、「強制的に電源を切る」(p.96)の操作をおこなってください。

ディスプレイに何も表示されない

パソコンの電源を入れたときにディスプレイに何も表示されないときや、パソコンを使っていて画面が真っ暗になったときは、パソコン本体の電源ランプの状態を確認してください。

パソコン本体の電源ランプが消えているとき。または、点滅しているとき

パソコン本体の電源スイッチを押してください。

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時には一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されています。

パソコン本体の電源コードなどは正しく接続されていますか?

一度、電源コードをコンセントから抜き、『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
電源コードなどすべてのケーブルを正しく接続しなおして、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

バッテリパックは正しく取り付けられていますか?

『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度バッテリパックの取り付け状態を確認してください。

バッテリは十分充電されていますか?

電源コードを接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。電源コードを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。電源コードを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターへお問い合わせください。

チェック!!
電源が入っているとき(省電力状態のときも含む)に、4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切るともとの状態に復帰できなくなります。

参照
NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

パソコン本体の電源ランプが青色に点灯しているとき

☹ ➡ ☺ **キーボードのキー（【Shift】など）を押すか、NXパッドに触れてみてください。**

画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。

☹ ➡ ☺ **休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？**

休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

☹ ➡ ☺ **ディスプレイの輝度（明るさ）が小さくなっていませんか？**

「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」をご覧になり、画面の輝度を調節してください。

☹ ➡ ☺ **外部ディスプレイを接続していませんか？**

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。
画面を表示させるには、キーボードの【Fn】＋【F3】を押すか、画面のプロパティの設定で画面の出力先を変更してください。画面のプロパティの設定手順について、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」をご覧ください。（出力先を画面のプロパティで変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます）
また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

「Windows 拡張 オプション メニュー」が表示された

「セーフ モード」を選んで、【Enter】を押し、Windowsをセーフモードで起動します。
セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。
「スタート」メニューの「終了オプション」から「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。
セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。PART3「再セットアップ」をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.71)をご覧になり、パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

「オペレーティングシステムの選択」が表示された

「Microsoft Windows XP Home Edition」を選んで、【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

画面に英語のエラーメッセージが表示される

「Checking file system on」と表示された場合

パソコンの電源を切る際に、Windowsは作業中のファイルをディスクに保存しなおすなどのいくつかの処理をおこないます。その処理が正しくおこなわれなかった場合に、このメッセージが表示されます。
このメッセージが表示された後しばらくすると、自動的に、ハードディスクやSSDに異常が発生していないかどうかチェックする処理が始まります。ハードディスクやSSDに異常がなければそのままWindowsが起動します。以降は問題なくお使いいただけます。
Windowsが正常に起動しなかった場合は、画面にメッセージが表示されますので、その内容をよく読んで対処してください。

「Invalid system disk」、「Operating System not found」などのメッセージが表示された場合

☹➡☺ 外付けのフロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブなどに、フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクやSSDがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどを取り出してから、何かキー(【Enter】など)を押してください。ハードディスクやSSDからWindowsが起動します。
フロッピーディスクやCD-ROMなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示される場合は、ハードディスクやSSDがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。PART3「再セットアップ」をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOSセットアップユーティリティで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

1 **別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す**

2 **パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら【F2】を押す**
BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **キーボードの【F9】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

4 **表示された画面で「はい」を選んで【Enter】を押す**
システムの設定が初期値に戻ります。

5 **【F10】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

6 **表示された画面で「はい」を選んで【Enter】を押す**
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

チェック!!

「BIOSセットアップユーティリティ」で設定したパスワードは、左の操作をおこなっても初期値には戻りません。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「BIOSセットアップユーティリティ」

チェック!!

- 手順2で【F2】を押してもBIOSセットアップユーティリティの画面が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何度か【F2】を押してください。
- ディスプレイの特性により手順2で「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F2】を何度か押してください。

省電力機能

省電力状態（休止状態 / スタンバイ）からもとの状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

省電力状態になる前の状態の画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

ソフトや周辺機器は省電力機能（休止状態/スタンバイ）に対応していますか？

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

コマンドプロンプトがアクティブのときにスタンバイ状態から復帰させたが画面が表示されない

【Alt】＋【Tab】を押してタスクを切り換えると、正常に動作するようになります。

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持（記録）した内容は消えてしまう場合があります。

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか？

・ 液晶ディスプレイを閉じた
・ 省電力状態にした
・ 電源を切った

このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

バッテリの残量が少なくなっていませんか？

ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

参照

省電力機能について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

省電力状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

・ 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・ 省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

・ プリンタで印刷しているとき
・ サウンド機能により音声を再生しているとき
・ ハードディスクやSSDを読み書き中のとき
・ 省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

チェック!!

省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

パスワード

Windows を起動したときにパスワードを入力してもログオンできない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「パスワードをお確かめください。」と表示される

(キャップスロックキーランプ)や(ニューメリックロックキーランプ)の設定が違っていませんか？

キャップスロックキーランプやニューメリックロックキーランプの状態がパスワード設定時と異なっていると、パスワードが正しく入力できない場合があります。ランプの状態を確認して、パスワードを設定したときと同じ状態にしてからパスワードを入力しなおしてください。

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

「ようこそ」画面のパスワード入力欄の右の?をクリックしてください。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、その「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードを設定しなおす必要があります。「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名を登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」の「ユーザー アカウント」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。
くわしくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOSセットアップメニューで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップメニューを起動できません。NEC 121コンタクトセンターにご相談ください。

ハードディスクやSSDのパスワードを忘れてしまったとき

NEC 121コンタクトセンターでは、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクやSSDのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、またハードディスクやSSDを有償で交換することになります。ハードディスクやSSDのパスワードは忘れないよう、十分注意してください。

チェック!!

- ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイトまたはネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
- 「制限ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、左のパスワードの設定操作はできません。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「サポートナビゲーター」やほかのマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

ウイルスに感染したらしい

コンピュータウイルスに感染した場合は、すぐにインターネット接続のために使っているLANケーブルなどをパソコンから取り外し、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」を使って、ウイルスを駆除し、被害を届け出ましょう。
届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先
独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX:03-5978-7518
E-mail:virus@ipa.go.jp
URL:http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL:03-5978-7509

参照
「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」

パソコンを落とした

外観上、特に問題なさそうなら、とりあえず電源を入れてみてください。正常に動作するようならば、ひと安心です。
万一、電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードをコンセントから抜いて、NEC 121コンタクトセンターにご相談ください。

参照
NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される場合は、不要なデータを削除してCドライブの空き領域を増やしてください。
不要データを削除する方法のほかに、再セットアップのための領域を利用してCドライブの空き領域を増やす方法があります。詳しくはPART3の「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使って再セットアップする」(p.87)をご覧ください。

付　録

バッテリリフレッシュについて

バッテリの機能を回復するバッテリリフレッシュについて説明します。
バッテリについて詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「バッテリ」をご覧ください。

バッテリは、使い続けていくうちに、フル充電してもバッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリリフレッシュをおこなうことでバッテリの性能を回復できます。
バッテリリフレッシュをおこなうのは、次のようなときです。

・バッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が、以前よりも短くなったとき
・ご購入直後や長期間放置した後で、バッテリの性能が一時的に低下しているとき
・バッテリの残量表示に誤差が生じているとき

チェック!!
バッテリリフレッシュは数時間かかります。時間に余裕のあるときにおこなってください。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使う

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使って、バッテリ性能の低下を抑えるためのリフレッシュと現状の性能診断をおこなうことができます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「バッテリ・リフレッシュ &診断ツール」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリックする**

2 **「今すぐ開始」をクリックする**

3 **「はい」をクリックする**

バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックしてください。

4 **診断結果を確認する**

「バッテリ状態」が「劣化」、「注意」と表示されたときにはバッテリを交換してください。

チェック!!
初回起動時は「バッテリ・リフレッシュ &診断ツール」についての説明の画面が表示されます。バッテリのリフレッシュおよび診断を開始する前に注意事項を確認してください。

チェック!!
バッテリリフレッシュおよび診断中にはACアダプタ、およびバッテリパックを取り外さないでください。

バッテリリフレッシュをおこなう

1 パソコンの電源を切る

2 バッテリリフレッシュをおこないたいバッテリパックをパソコンに取り付ける

取り付けられているバッテリをバッテリリフレッシュする場合は、そのまま手順3に進みます。バッテリの取り付け方については『セットアップマニュアル』をご覧ください。

3 パソコンにACアダプタを接続し、電源コードをコンセントに差し込む

バッテリ充電ランプ( )が点滅している場合は、一度ACアダプタを取り外し、バッテリパックを取り付けなおしてください。

4 バッテリをフル充電する

バッテリがフル充電されると、バッテリ充電ランプが消灯します。

5 パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

チェック!!
BIOSセットアップユーティリティが表示されないときは、電源を入れなおして、【F2】を押す間隔を変えてください。

6 電源コードのプラグをコンセントから抜き、ACアダプタをパソコンから取り外す

7 【→】を押して「終了」を選び、【↓】を押して「バッテリリフレッシュ」を選んでから【Enter】を押す

バッテリリフレッシュが始まります。

チェック!!
バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。また、バッテリリフレッシュ中はACアダプタを接続しないでください。

バッテリリフレッシュが完了すると、自動的にパソコンの電源が切れます。
電源が切れたら、ACアダプタと電源コードを接続してバッテリをフル充電してください。

バッテリリフレッシュを中断する

●電源スイッチから中断する

バッテリリフレッシュ中に電源スイッチを押すと、バッテリリフレッシュが中止されて、パソコンの電源が切れます。

チェック!!
バッテリリフレッシュ中に、【Esc】を押したり、ACアダプタを接続したりすると、バッテリリフレッシュの中断を確認するメッセージが表示されます。このとき、ACアダプタを接続している場合はACアダプタを取り外した後、【↑】または【↓】を押して「Continue Battery Refresh」を選んで【Enter】を押してください。バッテリリフレッシュが続行されます。

パソコンのお手入れ

パソコンは精密機械なので、日頃のお手入れが欠かせません。マウスやキーボードも、こまめに清掃することで長く快適に使用できます。

準備するもの

軽い汚れのとき

乾いたきれいな布を
用意します

汚れがひどいとき

水かぬるま湯を含ませて、
よくしぼった布を用意します

電源を切って、電源コードを外す

お手入れの前には、必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切ってください。電源コードをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外してください。

電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

チェック!!

- 水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
- シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や揮発性の有機溶剤を含む化学ぞうきんは、使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。

パソコン各部の清掃のしかた

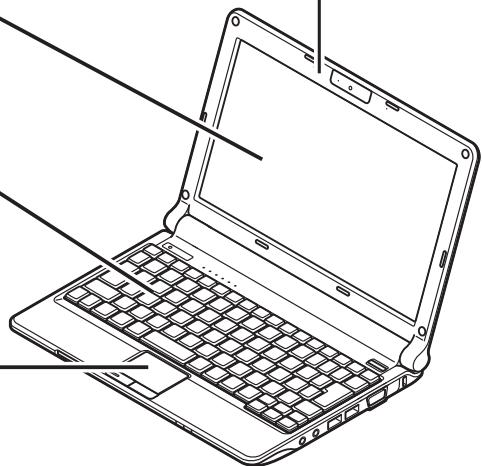
液晶ディスプレイ
やわらかい素材の乾いた布でふいてください。
化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。
ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

パソコン本体
やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

キーボード
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

NXパッド
やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

通風孔
通風孔のほこりなどを定期的に取り除いてください。

電源コード／ACアダプタ
電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにホコリがたまることがあります。
定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

チェック!!
水やぬるま湯を含ませ、よくしぼった布でパソコン本体、キーボードをふき取る際、水が入らないよう充分注意してください。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NEC 121コンタクトセンターへお問い合わせください。詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

✔チェック!!

NEC 121コンタクトセンターなどにこのパソコンの修理を依頼される場合は、設定したパスワードは解除しておいてください。

NEC製パソコンに関するお問い合わせ

NEC製パソコンのご購入などに関するお問い合わせは、下記コールセンターまでお問い合わせください。

●NEC Direct(NECダイレクト)コールセンター

電話(フリーコール):0120-944-500
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
Tel:03-6670-6670(東京)(通話料お客様負担)
受付時間:9:00 ~ 18:00
(ゴールデンウィーク・年末年始、およびNEC Direct指定休日を除く)

NEC製パソコンの修理のご相談などについては、下記NEC 121コンタクトセンターまでお問い合わせください。

●NEC 121(ワントゥワン)コンタクトセンター

電話(フリーコール):0120-977-121
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
Tel : 03-6670-6000(東京)(通話料お客様負担)
受付時間:
〈購入相談・回収リサイクル受付〉
9:00 ~ 17:00(年中無休)
〈修理受付・NECパソコン情報FAXサービス〉
24時間受付(年中無休)
※システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。
・サービス内容等は予告なく変更させていただく場合がございます。
最新の情報については、http://121ware.com/121cc/をご覧ください。

使用済みNEC製パソコンの買い取りに関するご相談、買い取りのお申し込みなどについては、次ページのリフレッシュ PCセンターまでお問い合わせください。

●NECパーソナルプロダクツ　リフレッシュ PCセンター

電話(フリーコール):0120-977-919
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
受付時間:9:00 ～ 17:00(日曜日、祝日、弊社休業日を除く)

・買い取り対象機種や上限価格は、随時変更されます。サービス内容の詳細や最新情報については、http://121ware.com/support/recyclesel/をご覧ください。

消耗品/有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

消耗品と有寿命部品は次のとおりです。

種類	内容説明名	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。 本体の保証期間内であっても有償となります。	フロッピーディスク、 CD-ROMディスク、 DVD-ROMディスク、 SDメモリーカード、 メモリースティック、 バッテリ、乾電池など
有寿命部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。 本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。詳しくは、NEC 121コンタクトセンターの修理受付窓口にご相談ください。	ディスプレイ、SSD、 ハードディスクドライブ、 キーボード、 マウス、 ファン

・記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは「仕様一覧」をご覧ください。

・有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
また、長時間連続使用等のご使用状態や、温湿度条件等のご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。

・本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、PC本体、オプション製品については製造打切後6年です。

パソコンの譲渡、廃棄、改造について

このパソコンを譲渡するには

●譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

   ※第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除いただくか、またはEメールアドレスwebmaster@121ware.com宛にご連絡ください。

チェック!!

パソコン内のハードディスクやSSDには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。このパソコン内のデータを消去する方法については、PART3の「パソコン内のデータを消去する」(p.90)をご覧ください。

●譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」での登録をお願いします。

http://121ware.com/my/　にアクセス

- ●はじめて登録するかた
  「新規取得」をクリックして登録
- ●以前ハガキ、オンライン、FAXなどで登録されたかた
  「インターネット以外の方法でご登録済みの方はこちら」をクリックして登録
- ●すでにログインIDをお持ちのかた
  「ログイン」をクリックして、ログイン後、保有商品情報の「新規・追加登録」で登録

インターネットに接続できないかたは、お客様登録に必要な次の事項を記入し、郵送してください。

記載内容

1. 本体型番、型名のいずれかと保証書番号
   （本体背面/側面または保証書に記載の型番/型名のいずれかと製造番号）
2. 氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス、中古購入された場合はそのご購入先、ご購入日
3. 121wareお客様登録番号
   （以前登録されてすでに「121wareお客様登録番号」をお持ちのかたは、記入をお願いします。）

宛先

〒143-8691　郵便事業株式会社　大森支店私書箱5号
　　　　　　NEC121ware登録センター係

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。
PCリサイクルマークが銘板(パソコン本体の底面にある型番や製造番号が記載されているラベル)に表示されている、または、PCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は弊社が責任をもって回収・再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

当該製品をご家庭から排出する際、弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力頂ける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。

廃棄時の詳細については、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(URL:http://121ware.com/support/recyclesel/)をご覧ください。

なお、下記の窓口でも廃棄についてお問い合わせいただけます。

NEC 121コンタクトセンター

廃棄のお問い合わせ　受付時間:9:00 ~ 17:00(年中無休)

フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話やＰＨＳ、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
03-6670-6000(東京)(通話料はお客様負担となります)
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

※ システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。
・ サービス内容等は予告なく変更させていただく場合がございます。
最新の情報については、http://121ware.com/121cc/をご覧ください。

当該製品が事業者から排出される場合(産業廃棄物として廃棄される場合)
当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。
廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。
(URL:http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/)

本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスクや SSD、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のホームページをご覧ください。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/release/020411.html

パソコンのハードディスクやSSDやメモリーカードには、お客様が作成、使用した重要なデータが記録されています。このパソコンを譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。「データやファイルの消去」、「ハードディスクや SSD の初期化(フォーマット)」、「メモリーカードの初期化 (フォーマット)」、「パソコンの再セットアップ」 などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるために Windows でデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクや SSD やメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクや SSD やメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際に、ハードディスクやSSDおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において完全に消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊(SSDやメモリーカードの場合は、金槌による物理的破壊のみ)して、読めなくすることを推奨します。

また、ハードディスクやSSDやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

チェック!!

パソコンの再セットアップでデータが消去されるのは、このパソコンに内蔵されたハードディスクやSSDのみです。

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。
記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

仕様一覧

●BL350/TA6W、BL350/TA6B、BL350/TA6R、BL300/TA6W、BL300/TA6B、BL300/TA6R、BL310/TD6W、BL310/TD6B、BL310/TD6R

型名				BL350/TA6W BL350/TA6B BL350/TA6R	BL300/TA6W BL300/TA6B BL300/TA6R	BL310/TD6W BL310/TD6B BL310/TD6R
型番				PC-BL350TA6W PC-BL350TA6B PC-BL350TA6R	PC-BL300TA6W PC-BL300TA6B PC-BL300TA6R	PC-BL310TD6W PC-BL310TD6B PC-BL310TD6R
インストールOS・サポートOS				Windows® XP Home Edition Service Pack 3 (SP3) 正規版(日本語版)※1※2		
CPU				インテル® Atom™ プロセッサー N280 (1.66GHz)(拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載※3)		
	2次キャッシュメモリ			512KB		
バスクロック	システムバス			667MHz		
	メモリバス			533MHz		
チップセット				モバイル インテル® 945GSE Express チップセット		
メインメモリ※4	標準容量／最大容量			1GB(DDR2 SDRAM/SO-DIMM 1GB×1、PC2-4200対応)／ 1GB		
	スロット数			1スロット[空き:0]		
表示機能	内蔵ディスプレイ			10.1型ワイド低反射TFTカラー液晶(スーパーシャインビュー液晶)(LEDバックライト付き)[WSVGA(最大1024×600ドット表示)]		
		LCDドット抜けの割合※5		0.00044%以下		
	表示色(解像度)※6※22	内蔵ディスプレイ		最大1677万色※7(1280×1024ドット、1024×768ドット、1024×600ドット、800×600ドット)		
		別売の外付けディスプレイ接続時(アナログRGB接続時)※8		最大1677万色(1280×1024ドット、1024×768ドット、800×600ドット)		
	グラフィックアクセラレータ			インテル® GMA 950(モバイル インテル® 945GSE Express チップセットに内蔵)		
	グラフィックスメモリ※4※9			最大128MB		
ドライブ	SSD ／ハードディスクドライブ※10			SSD 約16GB(Serial ATA)／約160GB(Serial ATA、5400回転/分)	−／約160GB(Serial ATA、5400回転/分)	
		Windows® システムから認識される容量※11※33	Cドライブ／空き容量	約10.0GB ／約3.2GB	約83GB ／約76GB	約83GB ／約74GB
			Dドライブ／空き容量	約148GB ／約148GB	約60GB ／約60GB	
	DVD/CDドライブ			−【別売、専用オプション(型番:PC-AC-DU004C)※12】		
サウンド機能	スピーカ			内蔵ステレオスピーカ(1W+1W)		
	音源／サラウンド機能			インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※13、ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能)、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル、ビームフォーミング)		
	サウンドチップ			RealTek社製 ALC269搭載		
通信機能	LAN			100BASE-TX/10BASE-T対応		
	ワイヤレスLAN			11nテクノロジー対応ワイヤレスLAN本体内蔵※14※15※16※17(IEEE802.11n Draft 2.0、IEEE802.11b/g準拠)		
	Bluetooth®			Bluetooth® Ver.2.1+EDR準拠※18(Class2)本体内蔵		
入力装置	キーボード			本体一体型(キーピッチ17mm※19、キーストローク2.0mm)、JIS標準配列(88キー)、右コントロールキー付き		
	ポインティングデバイス			ジェスチャー機能付きNXパッド標準装備		
	Webカメラ			有効画素数131万画素		
	マイク			2マイクアレイ(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル、ビームフォーミング)		
外部インターフェイス	USB			4ピン×3[USB 2.0](パソコン本体左側面の端子にパワーオフUSB充電機能付き※20)		
	ディスプレイ			ミニD-sub15ピン×1		
	LAN			RJ45×1		
	サウンド関連	マイク入力※21		ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス 32kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V)		
		ヘッドフォン出力		ステレオミニジャック×1(ヘッドフォン出力インピーダンス 16 〜 100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)		
		ライン出力		ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)		
	カードスロット	メモリーカード		SDメモリーカード(SDHCメモリーカード)スロット×1※23※24※25		

型名		BL350/TA6W BL350/TA6B BL350/TA6R	BL300/TA6W BL300/TA6B BL300/TA6R	BL310/TD6W BL310/TD6B BL310/TD6R
型番		PC-BL350TA6W PC-BL350TA6B PC-BL350TA6R	PC-BL300TA6W PC-BL300TA6B PC-BL300TA6R	PC-BL310TD6W PC-BL310TD6B PC-BL310TD6R
外形寸法	本体(突起部除く)	258(W)×205.5(D)×27.5～36.9(H)mm	258(W)×183.5(D)×27.5～29.8(H)mm	
	バッテリ	約232.0(W)×53.2(D)×29.2(H)mm(突起部除く)	約206.0(W)×31.7(D)×22.2(H)mm	
	ACアダプタ	約114.5(W)×49.5(D)×28.5(H)mm		
質量	本体(標準バッテリパック含む)	約1.32kg	約1.14kg	
	バッテリ	約365g	約190g	
	ACアダプタ※26	約270g		
バッテリ駆動時間※27※28	標準	約7.4時間	約4.2時間	
	最大(オプションバッテリ)	－	約8.5時間	
バッテリ充電時間(電源ON時／OFF時)※27	標準	約4.7時間／約4.6時間		
	最大(オプションバッテリ)	－	約4.7時間／約4.6時間	
電源※29※30		リチウムイオンバッテリ(DC10.8V、Typ.5800mAh※31)またはACアダプタ(AC100～240V±10%、50/60Hz)	リチウムイオンバッテリ(DC10.8V、Typ.2900mAh※31)またはACアダプタ(AC100～240V±10%、50/60Hz)	
消費電力	標準／最大	約13W／約60W	約12W／約60W	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率※32		I区分 0.00065(AA)	I区分 0.00066(AA)	
電波障害対策		VCCI ClassB		
温湿度条件		5～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)		
本体色		・型番(PC-BL□□□□□□■)の■がWの場合 フラットホワイト ・型番(PC-BL□□□□□□■)の■がBの場合 パールブラック ・型番(PC-BL□□□□□□■)の■がRの場合 パールレッド		
主なソフトウェア		－		Microsoft® Office Personal 2007 2年間ライセンス版※34
主な添付品		ACアダプタ、マニュアル		

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※　1：添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用できます。別売のOSをインストールおよびご利用することはできません。
※　2：ネットワークでドメインに参加する機能はありません。
※　3：電源の種類(AC電源、バッテリ)やシステム負荷に応じて動作性能を切り換える機能です。
※　4：グラフィックスメモリは、メインメモリを使用します。
※　5：ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。
※　6：本体液晶ディスプレイの最大解像度より小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能で画面全体に表示します。ただし、拡大表示によって文字や線などの太さが不均一になることがあります。
※　7：1677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現します。
※　8：本機のもつ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同時表示可能です。ただし拡大表示機能を使用しない状態では、本体液晶ディスプレイ全体には表示されない場合があります。また解像度によっては、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。
※　9：パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。
※ 10：1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
※ 11：右記以外の容量は、再セットアップ用領域として占有されます。
※ 12：DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)(バッファアンダーランエラー防止機能付き、USB 2.0接続)[DVD-R/+R 2層書込み]
※ 13：量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
※ 14：IEEE802.11n Draft 2.0およびIEEE802.11b/g準拠。ただし「IEEE802.11n Draft 2.0準拠」の表記は、他のIEEE802.11n Draft 2.0対応製品との接続性を保証するものではありません。
※ 15：IEEE802.11n Draft 2.0はWPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)対応、IEEE802.11b/gはWEP(64/128bit)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)対応。
※ 16：理論上の最大通信速度は送受信ともに150Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。接続先の11nワイヤレスLAN機器の仕様により、接続時の速度が異なります。
※ 17：IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※ 18： Bluetooth® V1.0、Bluetooth® V1.0B仕様のBluetooth® 対応機器とは互換性がありません。通信速度：最大2.1Mbps。通信距離：最大6m（6m以内でもデータ通信タイミングを必要とする音楽データ通信などは音飛びが発生する場合があります）。通信速度はBluetooth® V2.1+EDR対応機器同士の規格による速度（理論値）であり、実効速度とは異なります。また、周囲の電波環境、障害物、設置環境、アプリケーションソフトウェア、OSなどによって通信速度、通信距離に影響を及ぼす場合があります。

※ 19： キーボードのキーの横方向の間隔。キーの中心から隣のキーの中心までの長さ（一部キーピッチが短くなっている部分があります）。

※ 20： 動作確認済み機器に関しましては http://121ware.com/navigate/products/pc/connect/usb/list.html をご覧ください。

※ 21： パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。

※ 22： 本体液晶ディスプレイより大きい解像度を選択した場合は、バーチャルスクリーン機能により実現します。

※ 23： 「マルチメディアカード（MMC）」はご利用できません。すべてのSDメモリーカード、SDメモリーカード対応機器との動作を保証するものではありません。

※ 24： 「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」は、著作権保護機能（CPRM）に対応しています。

※ 25： 「SDIOカード」には対応しておりません。「miniSDカード」、「microSDカード」をご使用の場合には、SDカード変換アダプタをご利用ください。microSDカード→miniSDカード変換アダプタ→SDカード変換アダプタの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「miniSDカード」、「microSDカード」の取扱説明書をご覧ください。

※ 26： 電源コードの質量を除く。

※ 27： バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって記載時間と異なる場合があります。

※ 28： JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。詳しい測定条件は、インターネット（http://121ware.com/lavie/ → 各シリーズページ → 「仕様」）をご覧ください。

※ 29： パソコン本体のバッテリなど各種電池は消耗品です。

※ 30： 標準添付されている電源コードはAC100V用（日本仕様）です。

※ 31： 公称容量（実使用上でのバッテリパックの容量）を示します。

※ 32： エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。2007年度基準で表示しております。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。

※ 33： BL350シリーズは、Cドライブに SSD、Dドライブにハードディスクドライブを割り当てています。

※ 34： Microsoft® Office 2007 Service Pack 1をインストール済み。マニュアル添付。初回のライセンス認証完了から2年間ご使用いただけます。2年間が経過した後は、機能制限モードとなります。

■ワイヤレスLAN仕様一覧

●IEEE802.11b/g

項目	規格
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b、ARIB STD-T66 ※3
通信モード	IEEE802.11gモード:54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード) ※1 IEEE802.11bモード:11/5.5/2/1 (Mbpsモード) ※1
変調方式	OFDM方式 (54/48/36/24/18/12/9/6Mbpsモード時) DS-SS方式 (11/5.5/2/1Mbpsモード時)
無線チャンネル	1 〜 13ch (アクティブスキャン)
周波数帯域	2.4GHz帯域　(2.4 〜 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)、WEP(鍵長64bit/128bit※2)

※　1： 各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※　2： ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

※　3： ARIBについての表記の説明は「サポートナビゲーター」−「使いこなす」−「パソコンの機能」−「ワイヤレスLAN(無線LAN)」の「使用上の注意」をご覧ください。

●IEEE802.11n Draft 2.0

項目	規格
準拠規格	IEEE802.11n Draft 2.0 ※1、ARIB STD-T66 ※3
通信モード (送信時)	20MHz時:65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 (Mbpsモード) 40MHz時:150/135/120/90/60/45/30/15 (Mbpsモード)※2
通信モード (受信時)	20MHz時:65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5 (Mbpsモード) 40MHz時:150/135/120/90/60/45/30/15 (Mbpsモード)※2
変調方式	OFDM方式
無線チャンネル	1 〜 13ch (アクティブスキャン)
周波数帯域	2.4GHz帯域　(2.4 〜 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)

※　1： 「IEEE802.11n Draft 2.0準拠」の表記は、他のIEEE802.11n Draft対応製品との接続性を保証するものではありません。

※　2： 各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※　3： ARIBについての表記の説明は「サポートナビゲーター」−「使いこなす」−「パソコンの機能」−「ワイヤレスLAN(無線LAN)」の「使用上の注意」をご覧ください。

■Bluetooth仕様一覧

準拠規格	Bluetooth Specification Ver.2.1+EDR※1準拠 －EDR(Enhanced Data Rate)対応※2 －AFH(Advanced Frequency Hopping)対応※2 －FC(Fast Connection)対応※2 －Simple Pairing 対応※2
周波数帯域	2.4GHz帯(2.400-2.4835GHz)
変調方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散(FH-SS)方式
通信速度	最大約2.1Mbps※3
送信出力	Power Class2(最大4dBm)※4
対応プロファイル	Generic Access Profile Service Discovery Application Profile Serial Port Profile Dial-up Networking Profile FAX Profile Synchronization Profile Object Push Profile LAN Access Profile Personal Area Network Profile File Transfer Profile Basic Imaging Profile※5 Human Interface Device Profile Hardcopy Cable Replacement Profile Headset Profile Advanced Audio Distribution Profile Audio/Video Remote Control Profile Generic Audio/Video Distribution Profile

※1： Bluetooth® V1.1/1.2/2.0規格との上位互換がありますが、機器により正常に動作しない場合がありますのでご購入前に必ず接続性をご確認願います。Ver.1.0bとは互換性がありません。

※2： 接続先のBluetooth機器も同機能に対応している必要があります。また、AFH機能は回避可能な周波数帯域が確保できない場合は効果が得られない場合があります。

※3： 通信速度はBluetooth® V2.1+EDR対応機器同士の規格による速度(理論値)です。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーション、ソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※4： 規格上の電波出力の最大値であり実際の電波出力(アンテナ効率含む)ではありません。

※5： リモートカメラ機能はサポートしていません。

修理チェックシート

A欄・故障診断用

修理依頼日	20　　年　　月　　日

ご住所	〒　　－		
フリガナ お名前 (貴社名)		電話番号	ご自宅（　　）　　－ FAX（　　）　　－
部署名/ご担当者名 (法人の場合)		日中の連絡先 (お勤め先・携帯電話等)	

(本体) 製品型番/型名	PC-	製造番号	
(ディスプレイ) 製品型番/型名		製造番号	

症状について

1 どのような症状ですか?(できるだけ詳しくご記入ください)

① 電源は入りますか?	□ はい	□ いいえ	□ 時々
② 本体ランプは点灯しますか?	□ はい(　　色)		□ いいえ
③ モニタランプは点灯しますか?	□ いいえ	□ グリーン色	□ オレンジ色
④ ファン(通風)は回転しますか?	□ はい	□ いいえ	□ 時々
⑤「NEC」ロゴは表示されますか?	□ はい	□ いいえ	□ 時々
⑥ Windowsは立ち上がりますか?	□ はい	□ いいえ	□ 時々

2 その症状はいつから発生していますか?　　20　　年　　月　　日頃から

3 その症状はどんな操作をしたときに起こりますか?

4 症状の発生頻度を教えてください　□ 常時　□ 一日に数回　□ 週に数回　□ 月に数回
□ 年に数回　□ 不定期的に　□ 過去に発生した

5 お客様が追加してインストールされたソフトウェアがあれば、メーカー名、製品名をご記入ください

6 お客様が増設した周辺機器があれば、製品名をご記入ください
(対象:メモリ・ハードディスク・プリンタ・モデム等)

7 インターネットまたは電子メールに関する故障の場合は使用回線を教えてください
□ アナログ電話回線　□ ISDN　□ ADSL　□ 光回線　□ CATV　□ 社内LAN
□ その他〔　　〕

8 テレビに関する故障の場合はテレビ電波の種類を教えてください
□ 地上波アナログ　□ 地上波デジタル　□ BS　□ CS　□ CATV〔会社名:　　〕

B欄・修理申込用

項目	記入欄
1 お買い上げ日	20　　年　　月　　日
2 保証書の添付について	□ 無 □ 有〔保証書には販売店印または販売店の発行する領収書(購入日がわかるもの)が必要です〕
3 修理料金見積りについて	□ 見積不要(修理連絡なしに修理してもよい) □ 見積連絡不要　※見積連絡の必要がないので早く修理品を返却できます。 〔　　万　　千円以下(税込)であれば連絡なしに修理してもよい〕 □ 見積連絡必要
4 お預りする添付品について	□ 無 □ 有 (□ ACアダプタ　□ メモリ　□ 電源コード　□ キーボード　□ マウス　□ フロッピー媒体　□ CD媒体　□ 保証書　□ その他(　　　))
5 [重要]ハードディスクの初期化について ※1	□ 同意する □ 同意しない (故障原因がハードディスクまたはソフト障害の場合、ご同意いただけないと修理を行うことができません。そのままお返しすることをご了承ください。ハードディスク故障またはソフト障害のみ初期化。他の部品故障はハードディスクの初期化は行いません。)
6 ハードディスク内のデータのバックアップについて ※1	□ バックアップした □ バックアップしない
7 セットアップメニュー(BIOSメニュー)のスーパバイザパスワードの設定について ※2	□ 設定していない □ 設定しているが修理を出す前に解除した □ 設定しているが「12345」(半角)に変更した □ パスワードを教える。〔スーパバイザパスワード　　　〕
8 ログインする際のユーザー名でAdministrator（コンピュータの管理者）権限を持つユーザー名について（セットアップ時の登録ユーザー名） ※2	ユーザー名〔　　　〕 パスワードの設定 (□ 設定していない(修理を出す前に解除した) □ 設定しているが「12345」(半角)に変更した □ パスワードを教える。〔パスワード　　　〕)

注意事項

※1 修理のためにハードディスクの初期化が必要となる場合があります。初期化によりハードディスク内に記録されているお客様すべてのデータおよびソフトウェアが消去されます。
（パソコン内に登録されたソフトウェアや作成されたデータ、インターネット接続情報、メールアドレスやメール内容、お客様が取り込んだ写真、ホームページお気に入り情報、その他お客様が登録された固有の設定情報など、ハードディスク内の「すべてのドライブ」の「すべてのデータ」が消去されます。）
従いまして、常日頃からこまめにバックアップ（複製）するとともに、修理に出される前には必ずバックアップをお取りいただくようお願いいたします。
また、初期化にご同意いただけない場合、修理をすることができず診断料を請求しそのままお返しすることがあります。

※2 修理に出される前に、必ずパスワードを解除するか「12345」（半角）に変更していただくようお願いいたします。指紋認証システムをご利用のお客様は、あらかじめ認証機能を解除してください。
ご希望により当社でパスワードを解除（有料）する場合は、121コンタクトセンター（フリーコール　0120-977-121）〈修理受付〉までお問い合わせください。認証解除等においては再セットアップが必要になる場合があります。

索引

異常や故障の場合には

万一、本機に異常や故障が生じた場合には、次のように対処してください。

・本機から煙が出たり、異臭がしたりする
・本機が、手で触れないほど熱い
・本機から異常な音がする
・本機や接続されたケーブル類が破損した

↓

すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外してください。

※電源が切れないときには、そのまま電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

↓

NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

初版 2009年6月
NEC
853-810601-830-A
Printed in Japan

LaVie Light
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。